



文部科学省

地(知)の拠点

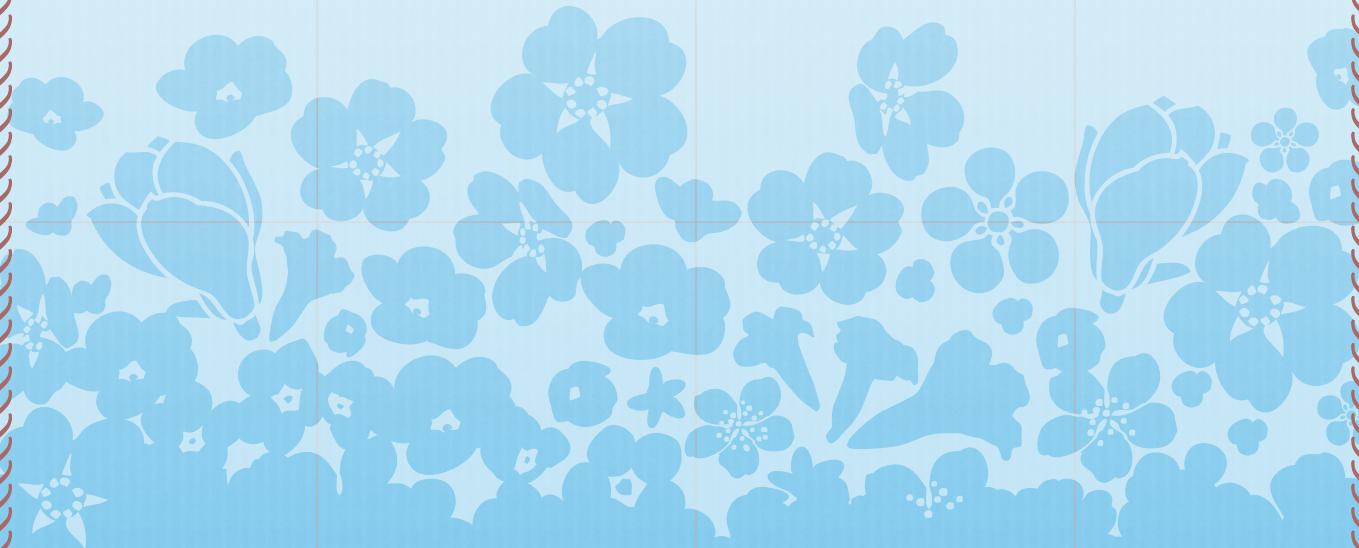
十文字学園女子大学

NAVII

～地域発展の力となるために、

今できること～

2017



教員ナビ



叶えたい、 その気持ちが 「+」となる

都心から30分圏内にありながら四季を通じて自然とふれ合えるキャンパス。
信頼できる教員や友人たちとの出会い。
そして、女性同士だからこそ存分に自分らしさが發揮できる環境の中、
新しい自分を発見し、社会に歩んでいく準備を始めます。

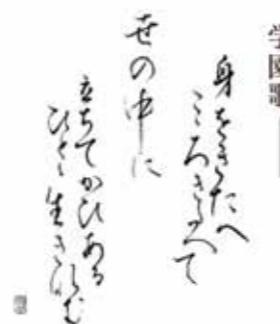
新芽が空をめざすように、目標に向かって成長しようとする学生を見守り、支える〈学び〉が十文字学園女子大学にあります。

女性の自立・生き方を学び、教養を身につける共通科目と
理想の未来に近づくために必要な9学科の専門科目が
めざす分野の道筋を明るく照らします。

創立以来95年、「社会に役立ちながら、自分の夢を叶えていく女性」を育成する
十文字の伝統は、確実に今日へと受け継がれています。

建学の精神・教育理念

本学の建学の精神は、学園歌「身をきたへ 心
きたへて 世の中に たちてかひある 人と生き
なむ」の中に込められています。自分自身の生
きがいをもち、自分の力で世の中の役に立てる
女性を育てたいと願う創立者の精神は、現在
も脈々と受け継がれています。



■学長あいさつ

社会貢献活動の 人的資源ナビゲーター

十文字学園女子大学 学長 志村 二三夫



この冊子はその名のとおり、本学教員のとくに社会貢献活動についての案内書(ナビゲーター)です。大学では、本来的使命の教育と研究に加え、社会貢献の重要度が急速に高まっています。教育や研究は次世代人材育成、研究成果の社会還元等をめざしており、それ自体が長期的に見れば間違いなく社会貢献にあたります。その一方、近頃は地域社会・産業界・行政との連携協力、国際協力、公開講座等といったより直接的な取組みを通じた、地域社会・経済社会・自治体や国・国際社会等の広い意味での社会全体の発展への貢献が求められるようになっています。

本学では、地域に根ざす大学としての実績を背景とした取組みが、平成26年に文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択され、大学全体として地域貢献に力を注いでいます。これを契機に、学生達が地域に出て活動する機会が格段に増え、地域の皆様を先生としてしっかりと成長しています。地域に資する成果が上がるとともに、教員の資質向上に役立っています。この冊子は、地域貢献とともに、本学教員が広い意味での様々な社会貢献にどのような形で関わることができるかのヒントとなる人的資源のナビゲーターです。「私たちのチームにこの教員とこの教員に参加してもらうと、何か新しく、面白い、社会に役立つことができそうだ」。そのようなマッチングにこの教員ナビを少しでも用立てて頂ければとてもうれしく思います。

■沿革

1922 大正 11	文華高等女学校開校 (設立者 十文字こと、戸野みちゑ、斯波安)	2002 平成 14	十文字学園女子大学人間生活学部 〔幼児教育学科・食物栄養学科〕開設 十文字学園女子短期大学を 十文字学園女子大学短期大学部に改称
1937 昭和 12	十文字高等女学校に校名改称	2003 平成 15	十文字短大附属幼稚園を 十文字女子大附属幼稚園に改称 記念ホール完成
1951 昭和 26	学校法人十文字学園に組織変更	2004 平成 16	十文字学園女子大学人間生活学部 〔人間福祉学科・人間発達心理学科〕開設
1966 昭和 41	十文字学園女子短期大学開學〔家政科、幼児教育科〕	2007 平成 19	人間生活学部幼児教育学科を 児童幼児教育学科に改称、 併せて2専攻〔幼児教育専攻、児童教育専攻〕設置
1968 昭和 43	十文字短大附属幼稚園開園	2009 平成 21	10号館完成
1973 昭和 48	学科〔初等教育学科、文学科国語国文専攻、 文学科英語英文専攻〕開設	2010 平成 22	大学院〔人間生活学研究科 食物栄養学専攻〕開設
1974 昭和 49	家政学科を家政専攻と食物栄養専攻に分離	2011 平成 23	新〔人間生活学部〕開設
1976 昭和 51	専攻科〔国文、英文、家政、食物栄養、 幼児教育、初等教育〕開設	2012 平成 24	短期大学部〔表現文化学科〕開設
1985 昭和 60	図書館完成	2015 平成 27	十文字学園女子大学人間生活学部〔健康栄養学科、 文芸文化学科〕開設 人間福祉学科に社会福祉コース・保育コースと社会 福祉・介護福祉コースを開設
1989 平成 元	学科〔教養学科〕開設	2016 平成 28	大学院〔人間生活学研究科 食物栄養学専攻 博士後 期課程〕開設
1991 平成 3	専攻科〔教養〕開設		
1992 平成 4	家政学科家政専攻を家政学科生活学専攻に改称		
1996 平成 8	十文字学園女子大学開學 〔社会情報学部社会情報学科〕		
2000 平成 12	十文字学園女子大学社会情報学部 〔コミュニケーション学科〕開設 十文字学園女子大学留学生別科開設		



設立者 十文字 こと



創立当時の校舎(1922年頃)



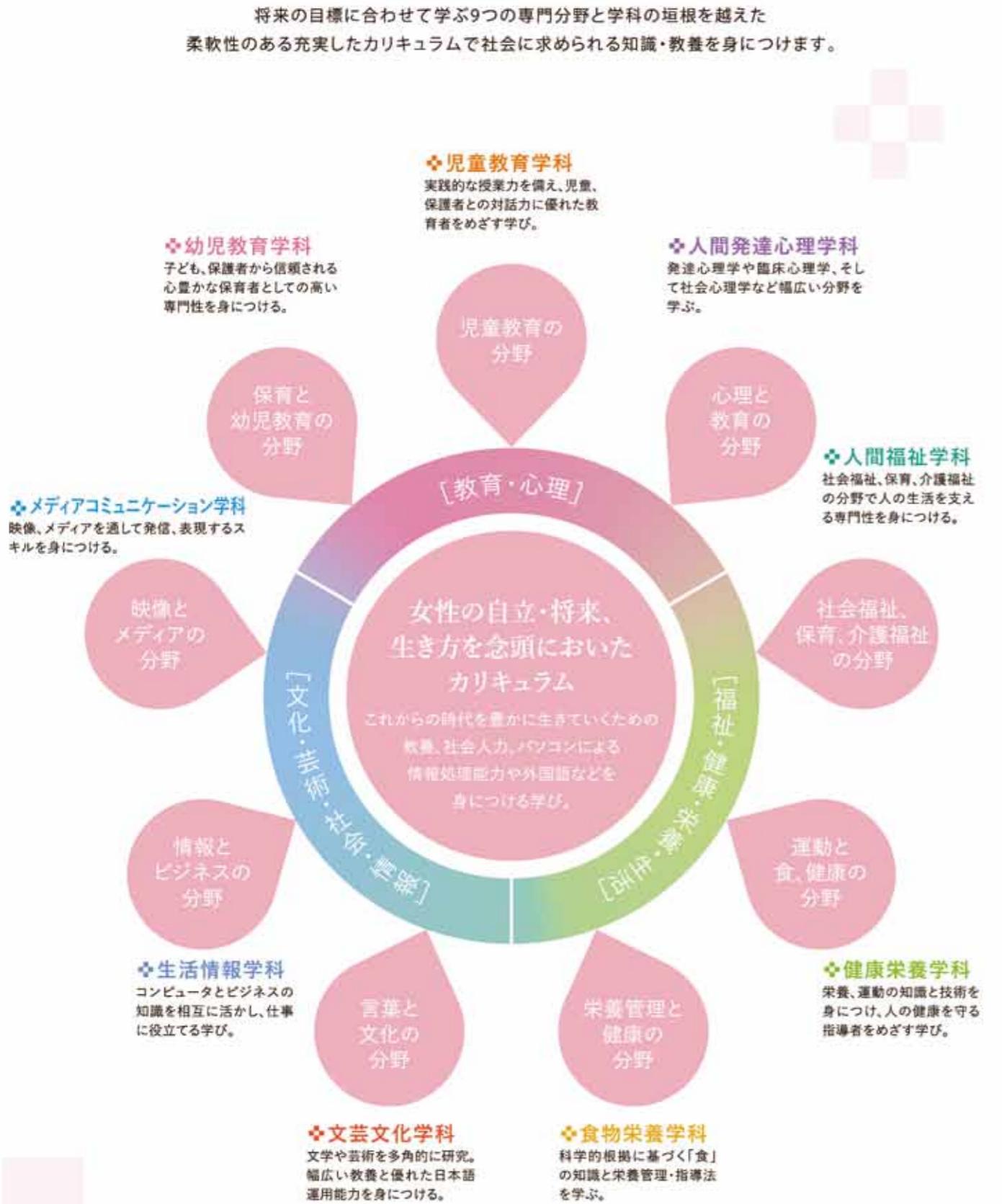
戦災前の学校全景(1936年)



短大全景(1975年頃)



十文字の9学科



テーマ一覧

本学教員の研究テーマを10分野に分けてご紹介します。

ジャンル	内 容	ページ
01. 教育学	教育工学／ICT／教育の思想と歴史／音楽／教師の歴史／特別支援教育／発達障害教育／養護学／学校保健／健康増進論／保健体育／国語／保育史／生涯教育／算数／英語／教育心理／教育評価／地域連携／教育課程／社会科／学校経営／教育内容・方法／教育情報学／教育方法学／メディア活用／音楽教育学／日本音楽教育史／表現活動／知的障害教育／体育	P. 05—11
02. 心理学	認知心理／実験心理／発達臨床心理／特別支援教育／社会心理／学校カウンセリング／こころのケア／教育心理／発達教育工学／発達障害／発達心理／認知心理／臨床心理	P. 12—15
03. 子ども学・福祉	子どもの発達／子ども家庭福祉／障がい者福祉／高齢者福祉／対人援助論／傾聴／女性福祉／保育／保護者支援／子育て・子育ち支援／発達障害／療育方法／地域福祉活動／ボランティア／性教育／スポーツ／地域ケア／介護／看護／言語／ケアマネジメント／遊び／発達心理／幼児教育／人権／健康増進／成長発達／発達臨床／乳児保育／障害児保育／ソーシャルワーク／学校保健／リプロダクティブ・ヘルス	P. 16—26
04. 食・栄養	栄養学／運動生理学／バイオメカニクス／調理科学／栄養化学／食品機能／分子生物学／健康教育／栄養教育／食育／臨床栄養学／食生活／調理／栄養管理／介護食／食品科学／食品化学／給食経営管理／妊娠期の栄養／生活習慣病／食品加工／食品生理学／食品の物性／生化学／解剖生理学／食品安全／味覚／内科学／内分泌代謝／スポーツ医学／労働衛生／安全衛生保護具／環境／公衆栄養／保健／プレバイオティクス／難消化性糖質の生理作用と代謝／給食の品質管理／郷土料理の伝承／食文化／循環器／心臓リハビリテーション／運動／食品／食品生化学／内科／国際栄養	P. 27—38
05. 経済学・経営学	民法／金融法／担保物権法／消費者法／簿記論／財務会計論／租税法／国際税務戦略論／金融規制／バブル崩壊後の経済政策／マーケティング／生活経済／商品開発／経営	P. 39—41
06. 社会学	家族社会学／農村社会学／政治学／日本政治論／比較政治論／国際関係論／政治とメディア／男女共同参画／コミュニティ／女性起業	P. 42—44
07. メディア・情報・自然科学	新聞／地域メディア／NIE／ソフトウェア工学／データベース／検証／データの分析／教育工学／メディアリテラシー／ICT／情報教育／グラフィックデザイン／コンピューター／物理学／計算機実験／GIS／地域分析／情報処理教育／健康管理／小児保健／喫煙対策／健康教育／経営工学／信頼性工学／グローバルジャーナリズム／ネットワーク／インターネット／セキュリティ／ユニバーサルデザイン／教育方法	P. 45—49
08. 文・化学	平安時代／図書館／英文学／ユーモアと笑い／舞台芸術／宝塚研究／情報教育／日本近代文学／翻訳文学史／着物／ファッショントレンド／万葉集／古事記／日本靈異記／口承文芸／民族事象／日本美術史／江戸時代絵画史／声の日本語／朗読／コミュニケーション	P. 50—54
09. 言語学	中国語／日本語／英語学／第二言語／ことばのしくみ／発音／コミュニケーション／話したことば／方言／コミュニティーデザイン／神経言語学／神経哲学／日本文化	P. 55—58
10. 芸術・健康スポーツ	サッカー／健康増進／生涯スポーツ／スポーツビジネス／地域スポーツ／オリンピック／ピアノ／音楽表現／音楽アート／コーチング／スポーツ工学／リズムあそび／ミュージカル研究／宝塚研究／バイオメカニクス／形態計測学／作曲／編曲／音楽制作／プロデュース／教科教育／美術教育／造形教育／カレッジスポーツ／運動の学習と発達／知覚と運動／声楽／幼児音楽／身体表現／舞踏／サッカー指導	P. 59—64



教員NAVI 掲載教員一覧(五十音順)

	氏名	ページ数
ア行	赤間 恵都子	P. 51
	安達 一寿	P. 06
	阿部 史	P. 40
	天野 実咲	P. 60
	綾井 桜子	P. 06
	有田 安那	P. 28
	飯田 路佳	P. 60
	池川 繁樹	P. 28
	池田 まさみ	P. 13
	池間 里代子	P. 56
	石井 和美	P. 28
	石川 敬史	P. 51
	石田 有理	P. 17
	石野 榮一	P. 46
	石山 隆之	P. 60
	伊集院 理子	P. 17
	泉 直子	P. 46
	井手 隆	P. 29
	伊藤 恵子	P. 13
	伊藤 陽一	P. 17
	井上 久美子	P. 29
	岩本 珠美	P. 29
	太田 真智子	P. 18
	大友 由紀子	P. 43
	大宮 明子	P. 13
	大山 博幸	P. 18
	小笠原 典子	P. 56
	岡本 節子	P. 30
	落合 真裕	P. 51
	小野 裕次郎	P. 46
	折口 いづみ	P. 30
カ行	風間 文明	P. 14
	鍛治 智子	P. 19
	梶野 涼子	P. 30
	柏葉 修治	P. 14
	片居木 英人	P. 18
	加藤 晓子	P. 52
	加藤 陽子	P. 14
	加藤 則子	P. 19
	加藤 順弘	P. 40
	加藤 亮介	P. 47
	金勝 裕子	P. 06
	上垣内 伸子	P. 19
	亀崎 美沙子	P. 20
	狩野 浩二	P. 07
	川喜田 昌代	P. 20
	川口 英俊	P. 43
	川瀬 基寛	P. 47
カ行	北原 俊一	P. 47
	木村 靖子	P. 31
	仇 晓芸	P. 56
	金高 有里	P. 31
	工藤 貴子	P. 31
	久保田 葉子	P. 61
	栗崎 純一	P. 32
	栗原 隆史	P. 48
	権 明愛	P. 20
	向後 朋美	P. 57
	小長井 ちづる	P. 32
	小林 三智子	P. 32
	小林 実	P. 52
	込江 雅彦	P. 40
	齋藤 忍	P. 07
	齋藤 千景	P. 07
	齋藤 麗子	P. 48
	佐々木 菜穂	P. 33
	佐々木 亮太	P. 61
サ行	佐藤 陽	P. 21
	Sheila Cliffe	P. 52
	潮谷 恵美	P. 21
	設楽 優子	P. 57
	柴山 桂	P. 61
	清水 玲子	P. 62
	志村 二三夫	P. 33
	新行内 康慈	P. 48
	鈴木 晴子	P. 21
	鈴木 弘貴	P. 49
	鈴木 雅子	P. 22
	鈴木 康弘	P. 22
	須田 有実子	P. 33
	相馬 満利	P. 62
	曾矢 麻理子	P. 34
	高橋 京子	P. 08
	高橋 正人	P. 34
	田倉 昭	P. 49
タ行	武田 比呂男	P. 53
	田中 茂	P. 34
	棚谷 祐一	P. 62
	谷嶋 美和乃	P. 53
	田緑 恵子	P. 43
	角田 真二	P. 49
	東畠 開人	P. 15
	徳野 裕子	P. 35
	富井 友子	P. 22
	富山 哲也	P. 08
	長尾 昭彦	P. 35
ナ行	長澤 伸江	P. 35
	長田 瑞恵	P. 23
	中西 郁	P. 08
	中村 稔子	P. 36
	名倉 秀子	P. 36
	名達 英詔	P. 63
	西脇 二葉	P. 09
	二瓶 さやか	P. 23
	野島 靖子	P. 23
	野田 詩織	P. 36
	林 綾子	P. 37
	樋口 一貴	P. 53
	日出間 均	P. 09
	肥沼 謙	P. 63
	平田 智秋	P. 63
	福田 智雄	P. 24
	福田 仁	P. 09
	藤本 正徳	P. 41
	布施 晴美	P. 24
マ行	古屋 由貴子	P. 10
	星野 敦子	P. 10
	星野 祐子	P. 57
	堀竹 充	P. 10
	松岡 敬明	P. 11
	松永 修一	P. 58
	松本 晃子	P. 41
	松本 晃裕	P. 37
	宮内 寿彦	P. 24
	宮川 保之	P. 11
	宮城 道子	P. 44
	宮野 周	P. 64
	向井 美穂	P. 25
	森田 勝之	P. 58
	安田 哲也	P. 25
	薮崎 伸一郎	P. 64
	山口 由美	P. 25
	山崎 優子	P. 37
ヤ行	山下 優美	P. 15
	山田 陽子	P. 26
	山本 悟	P. 11
	山本 茂	P. 38
	横井 純子	P. 26
	好本 恵	P. 54
	綿井 雅康	P. 15
	渡邊 孝枝	P. 64
	和田 安代	P. 38
ワ行	1	

教育学

あだち かずひさ
安達 一寿

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 教授
専門分野 教育工学、教育情報学、教育方法学、ICT活用、メディア活用



活動の概要

[担当科目] 生活とメディアー生活や社会に浸透しているメディアに関して、その特徴を理解し、上手に利活用するための知識や技術を学ぶ。プレゼンテーション技法ー効果的な情報伝達の方法を学ぶ。併せて、情報活用・問題解決の基本技法について学ぶ。

[研究内容] ●学校教育現場での情報教育の在り方

- ICT を活用した効果的な教育方法と授業設計
- アクティブラーニング等と学習者の能力育成の関係や評価

地域連携・社会貢献活動

- 独立行政法人教職員支援機構 次世代型教育推進センター「新たな学びに関する教員の資質能力向上のプロジェクト」企画運営委員
- 所沢市「これからコンピュータネットワーク調査活用研究協議会」研究指導者
- 清瀬市立清瀬第4小学校 学校運営連絡協議会・学校関係者評議会委員

具体的な活動

- 本学COC事業の推進にあたり、地域志向教育プログラムの企画・開発、学生活動のイベント企画等にあたっている。

あやい さくらこ
綾井 桜子

人間生活学部 児童教育学科 准教授
専門分野 教育の思想と歴史



活動の概要

[担当科目] 「教育学概論」「道徳教育」他

[研究内容] ●私たちの教育観や教育の仕組みが欧米から多くの影響を受けて成り立っていることに着目し、ヨーロッパ、特にフランスの教育観や教育思想を近現代の思潮や社会の変化も含めて調べています(特に、教養形成と教育)。また、道徳教育について理論・実践の両面から取り組んでいます。

[共著] 『西洋教育思想史』(慶應義塾大学出版会 2016年)、『教育思想史で読む現代教育』(勁草書房 2013年)、『言語と教育をめぐる思想史』(勁草書房 2013年)、『フランス教育における伝統と革新』(大学教育出版 2009年) 他。

かねかつ ひろこ
金勝 裕子

人間生活学部 幼児教育学科 教授
専門分野 音楽教育学、日本音楽教育史、邦楽文化、ピアノ、箏



活動の概要

[担当科目] 「児童音楽文化論」幼児音楽、唱歌などの歴史的研究から、今後の子どもの音楽教育を考えいく。

[研究内容] 洋楽と邦楽の両観点から音楽と生きるということはどういうことかということを考えいく。日本の音楽教育の在り方を追求する。邦楽アンサンブルの作曲3冊、年間2-3回の邦楽演奏会に出演。

地域連携・社会貢献活動

- 施設・病院などの演奏活動を多くこなしていく。
- 季節に合った音楽をピアノ演奏、邦楽演奏などを通して提供し、心の豊かになるよう援助活動をしていく。
- 大日本家庭音楽会出版「民謡曲集」他3冊

具体的な活動

- 「邦楽演奏活動」清瀬三曲連盟所属。箏・三絃・尺八演奏による演奏活動。
- アンサンブル「奏」所属。本格的な邦楽演奏会を開催。

かりの こうじ
狩野 浩二

人間生活学部 児童教育学科 教授
専門分野 授業や表現活動、中山間地域の支援活動、教師の歴史についての研究



活動の概要

[担当科目] 「教育学概論A」「教育方法A」「表現活動(基礎)」「表現活動(応用)」

[研究内容] 学校での授業について、教材解釈や授業展開の方法、子どもの学習活動を質的に高める方法の研究を中心にしています。学校の先生方の授業をよくするために、実際の授業にはいって、先生方と一緒に勉強すること続けています。

地域連携・社会貢献活動

- 沖縄県沖縄市立泡瀬小学校や埼玉県志木市立宗岡第三小学校で校内研修のお手伝いをしています。

【COC事業】

- 中山間地域と都市とをつなぐ人材育成について、実践的に研究しています。

泡瀬小で表現活動「利根川」を発表する児童教育学科学生▶



さいとう しのぶ
齋藤 忍

人間生活学部 児童教育学科 准教授
専門分野 特別支援教育、発達障害教育



活動の概要

[担当科目] 「特別支援教育概論」「特別支援教育指導法」「知的障害教育概論」「知的障害の心理・生理・病理」他

[研究内容] ● LD・ADHD・ASD 等、多様な学びを支える支援に関する研究

● 特別支援学級や通級指導教室における指導支援・教材開発についての研究

● 通常の学級におけるUDL(学びのユニバーサルデザイン)による授業改善に関する研究

地域連携・社会貢献活動

[社会貢献活動] ● 新座市就学支援委員会委員 ● 新座市教育相談センター巡回相談員 ● 埼玉県・東京都・山口県・福島県等各地の特別支援教育研修会講師 ● 発達障害に関する保護者向け子育て講演会講師 等

【COC事業】 地域志向教育推進「地域における子育て支援の中核的な役割を担う現職保育者育成に繋がる発達相談モデルの構築」



多層指導モデルMIM指導者
講習会(新座小)

さいとう ちかげ
齋藤 千景

人間生活学部 人間発達心理学科 准教授
専門分野 養護学、学校保健



活動の概要

[担当科目] 「養護概説」「健康相談活動」「救急処置活動」

[研究内容] ● 養護学の学問体系に関する研究

● 養護実習に関する研究

● 養護教諭の資質を高めるための方策についての研究(ケースメソッド教育の効果に関する研究)

地域連携・社会貢献活動

- ケースメソッド教育を用いて行う研修を教員・養護教諭・コメディカルを対象に実施
- 放課後児童指導員認定資格研修講師

たかはしきょうこ 高橋京子

人間生活学部 健康栄養学科 教授
専門分野 健康増進論、保健体育科教育学



活動の概要

- 【担当科目】**「体育原理」「保健体育科教育法」
【研究内容】● 健康寿命の延伸は、超高齢社会を迎えたわが国において重要な意味をもつ。社会体育、学校体育の分野でどのようにこの国を支えていくかを考え、行動している。
● 小中一貫、コミュニティスクールの展開は、学校教育の充実と地域コミュニティの構築のため、実現すべき課題である。具体的な手法を広めることを使命と考えている。

地域連携・社会貢献活動

- さつまいもプロジェクト、ダンスパフォーマンスなどの学生の社会貢献活動の指導
- 地域のシニア世代の方々を対象としたシニア健康教室の開催
- 小中一貫、コミュニティスクールについて、講演、実施に向けた指導助言

新座市収穫祭に出店▶
たくさんの方々に協力いただき、完売



具体的な活動

- 平成23年、さつまいもプロジェクトが始まった。新座市産の芋焼酎「指月喝」の材料となるさつまいもの栽培に協力し、さつまいも50kgをいただき、そのさつまいもでお菓子を作り、新座市のイベントで販売し、その収益を東北支援につなげてきた。地域の方々に支えられ、この活動も7年目を迎える。新たに、廃棄されることの多い里芋の親芋を使った新たなお菓子づくりにも挑戦し、地域貢献の拡大を目指している。

とみやまてつや 富山哲也

人間生活学部 児童教育学科 教授
専門分野 国語科教育(小学校、中学校)



活動の概要

- 【担当科目】**「初等国語科教育」「授業研究」「国語」「読書と豊かな人間性」他
【研究内容】● 小学校・中学校国語科の指導と評価についての実践的な研究
● 新学習指導要領、言語活動の充実など、学力向上と学習指導に関する研究
● 絵本に関する研究 等

地域連携・社会貢献活動

- 新座市学校評価第三者評価委員 ● 新座市国語主任研修会講師
- 新座市子ども暗唱・弁論大会審査員 ● 東京都荒川区学校教育ビジョン改訂検討委員(副委員長)
- 新座市、和光市、志木市、東京都の小・中学校、教育委員会における校内研修(国語) 講師 等

具体的な活動

- 新座市国語主任研修会においては、研究授業の事前検討会から参加し、児童生徒が主体的に学習する授業づくりについて一緒に考えました。
● 東京都荒川区学校教育ビジョン改訂検討委員会では、新しい教育ビジョンの内容について協議してきました。新「教育ビジョン」は、平成29年度から実施される予定です。
● 各区市の研究発表会や校内研修会には、本学の学生も多数参観させていただきました。

なかにしかおる 中西郁

人間生活学部 児童教育学科 教授／
特別支援教育センター センター長
専門分野 特別支援教育、知的障害教育



活動の概要

- 【担当科目】**「特別支援教育概論」「知的障害教育概論」「知的障害教育課程論」「特別支援学校教育実習」他
【研究内容】● 特別支援学校教諭免許取得にかかる特別支援学校教育の授業研究
● 特別支援教育の体制整備及びインクルーシブ教育システムの推進に関する研究
● 知的障害教育における学力問題などの研究

地域連携・社会貢献活動

- 朝霞市就学支援委員会委員長
- 新座市教育相談センター巡回相談員
- 埼玉県立特別支援学校、東京都立特別支援学校学校運営連絡協議会委員長(4校)
- 東京都新宿区立学校第三者評価委員
- 社会福祉法人ヴィの会評議員

具体的な活動

- 特別支援学校、特別支援学級等の特別支援教育に関する研究会の講師、特別支援教育に関する教員の研修会講師、特別支援教育に関する一般的理解啓発を図るために講演会講師等を行っている。また、特別支援学校の学校評議員会委員として学校運営等への改善・充実に向けた指導・助言を行っている。

にしつきふたば 西脇二葉

人間生活学部 幼児教育学科 助手
専門分野 保育史、生涯教育



活動の概要

- 【研究内容】**● 専門的研究としては、保育施設を拠点とする地域子育て支援のあり方を歴史的に検討している。
● 子育て支援に対する保育施設の役割を、わらべ唄教室の実践活動を通じて模索しながら、地域への子育て支援の拠点としての情報発信している。

具体的な活動

- 保育者のためのわらべ唄講習会の企画、参与のほか、0.1.2歳児の子育て支援活動に従事している。

ひでまひとし 日出間均

学科長／人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野 算数科教育学(小学校算数科の授業づくりに関連した研究)



活動の概要

- 【担当科目】**「初等算数科教育」「算数」「授業研究」「教職入門」「教職基礎演習」「教育実習事前事後指導」他
【研究内容】● 小学校算数授業の指導法・指導技術・教材開発についての研究
● 小学校現職教員の研修プログラムの確立についての研究
● 算数科における問題解決学習の在り方についての研究

地域連携・社会貢献活動

- 埼玉県、東京都の小学校研究の支援 ● 新算数教育研究会本部役員。同月刊誌執筆
- COC事業
- 地域志向教育推進「小学校現職教員における授業力向上研修プログラムの確立と教員養成カリキュラムの融合」
- 新座市立野寺小学校 学校評議員

具体的な活動

- 清瀬市立清明小学校算数科授業研究(2016～2017年) 指導講師及び学校外向けの研究発表会の企画運営指導
- COC事業「新座市立野寺小学校・新開小学校現職教育プラン」の実施野寺小学校・新開小学校と合同で現職教員の研修プログラムの在り方を探っている。国語科・算数科・体育科を中心にして、授業実践力及び教材研究に関する資質を向上させる研修を企画し、実施している。小学校教員を志望する学生も適宜研修に参加し、体験的に研修の在り方を学び、意識改革を図る。

ふくだひとし 福田仁

人間生活学部 語学教育センター 教授

専門分野 英語教育



活動の概要

- 【担当科目】**「英語I」「アドバンスト・リーディング」「アドバンスト・リスニング」「インターネット英語」「異文化理解」他
【研究内容】「インターネット英語」では、ネット上で利用可能な英語学習サイトやスマートフォンアプリなどを紹介し、自律的な学習習慣を身につけることを目標としています。

- 【研究内容】**● 小学校英語教育、外国語の習得などに関すること

地域連携・社会貢献活動

- 特定非営利活動法人「小学校英語指導者協議会」のトレーナー検定委員として、検定試験の審査に関わってきました。
- 社会人を対象にした小学校英語指導者養成講座を企画・運営

ふるや ゆきこ 古屋 由貴子

人間生活学部 児童教育学科 助手
専門分野 教育心理学、教育工学、作文指導、文章産出



活動の概要

【研究内容】●「上手に作文を書けるようになるには、どのような指導や方法を取ったらいいか」といった内容について、教育心理学的な観点から研究を進めている。修士論文では、「状況説明文の記述と評価の関連性の検討」という題目で、文章の記述だけでなく評価の観点からもわかりやすく向上のための方法を検討するという研究を行った。H28年度以降は、説明文のみならず、レポート等の学術的な文章をわかりやすく書くための指導法・授業プログラムの開発について研究を進めている。

まつおか たかあき 松岡 敬明

人間生活学部 児童教育学科 教授
専門分野 英語教育



活動の概要

【担当科目】「英語科教育法」「外国語活動」「教職入門」「特別活動」「教職発展演習」他
【研究内容】●英語の指導法、英語教員の育成についてなど、英語教育に関する研究
●次期学習指導要領における小学校外国語の教科化に向けた、小学校英語の指導法や小中の連携についての研究

地域連携・社会貢献活動

- 地域支援ボランティアサークル「ゾウキリンくらぶ」
- ふるさとの緑と野火止用水を育む会(HUGネット)
- 文部科学省英語教育強化地域拠点事業運営指導委員
- 日本中学校体育連盟参与
- 漁船海難遭児育英会理事

具体的な活動

- 平成29年度は、公開講座「子ども大学」において、楽しく英語を学ぶ講座を予定しています。

ほしの あつこ 星野 敦子

人間生活学部 児童教育学科 教授
専門分野 教育評価、生涯学習、地域連携



活動の概要

【担当科目】「生涯学習概論」「学校制度論」「教育方法」「地域で学ぶ」「埼玉の地理・歴史・文化」他
【研究内容】●地域連携活動を核に生涯教育制度や地域の人材育成
●地域連携活動の教育効果、町おこし等に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 「ふるさとの緑と野火止用水を育む会」(HUGネット)の創設
- 石巻支援活動(経済産業省草の根NPO等支援活動)
- 彩の国ふるさと支援隊(中山間支援 神川町 阿久原地区)
- 商店会支援活動
- ネパール学校支援活動 等



被災したネパールの小学校に制服を届けています

みやかわ やすゆき 宮川 保之

人間生活学部 児童教育学科 教授
専門分野 幼児教育や義務教育の制度、教員養成・育成の内容と方法
教育内容・方法



活動の概要

【担当科目】「理科教育法」「教育原理・教育制度」「教育方法」「道徳教育」他
授業は、反転学習や集団討議法等の創造性開発をねらいとした内容・方法で構成し、学生が思考力や表現力を高め、基礎となる知識・技能(創造性開発)を修得するとともに、主体的に問題解決していく講義・演習を主として実践。
【研究内容】●就学前教育(就学前教育と義務教育のカリキュラムや教育内容・方法の改善とその普及)
●教員養成・育成(本学と連携する基礎的自治体と共同による教員養成・教員研修(育成)の改善とその普及)
●都市再生(基礎的自治体の「まちづくり」や生活困窮者支援等の具体的な方策に関する実際とその普及)
●人権教育(意識下にある偏見や個人の自己評価(自己概念の形成)と自己肯定感等の課題解決に係る研究とその成果の普及)
●理科教育(理科教育を基本としての科学的な見方考え方を育成する学習指導や授業デザインに関する実践的な研究と普及)

地域連携・社会貢献活動

- 「東日本大震災」被災地支援活動(宮城県、福島県)
- 「まちづくり事業体」等の展開に係る基礎的自治体の取組みに参与
- 基礎的自治体の教育委員・基礎的自治体の事務事業評議委員
- 基礎的自治体における「いじめ問題専門家会議」委員・基礎的自治体における生活困窮者支援事業への参与
- 公私立小中高等学校における教育研究研修等の支援
- 公立学校の学校評議員

具体的な活動

- 学生とともに汗を流して義援金を生み出し、これを被災地に届けたり、被災地に出向いて復旧のためのボランティア活動を行っている。
- 民生費の増大に伴う基礎的自治体の財政問題の解決を目指した「まちづくり事業体」等の創生を目指した取組みに参与している。
- 就学前教育や義務教育等の適切な推進に係る運営に参与し、学校等の教育水準を向上させるための提案や、学校等を訪問し、助言などの取組を行っている。
- 基礎的自治体における「いじめ問題専門家会議」委員などの役を引き受け、学校教育等の課題解決や幼児児童生徒の健全育成に係る助言などの取組を行っている。

ほりたけ みつる 堀竹 充

人間生活学部 児童教育学科 教授
専門分野 教育課程、社会科教育学、学校経営



活動の概要

【担当科目】「初等社会科教育」「学級経営と教科指導」「総合学習の授業づくり」他
【研究内容】●初等社会科教育
○総合的な学習 ○教師論 ○学校図書館学
●学校経営
○小学校社会科の教材開発

地域連携・社会貢献活動

- 八王子市、日野市、福生市、三鷹市、練馬区、江東区等の小学校校内研究支援
- 八王子市立中学校学校評議委員
- 新座市・清瀬市教職3年経験者研修会講師
- 全国連合小学校長会顧問
- 東京都公立小学校長会顧問

やまもと さとる 山本 悟

人間生活学部 児童教育学科 教授
専門分野 体育科教育学(小学校体育科の授業づくりに関する研究)



活動の概要

【担当科目】「初等体育科教育」「体育」「教職発展演習」「教材研究A・B」「授業研究A・B」「身体運動I・II」「教職実践演習」「保育内容の指導法(健康)」
【研究内容】●小学校体育授業の指導法・指導技術・教材開発および小学校現職教員の研修プログラムの確立に関する研究をテーマに取り組んでいる。

地域連携・社会貢献活動

- 和光市立北原小学校体育授業研究(2014 ~ 2016年)
- 指導講師および学校外向け研究発表の企画運営指導
- COC事業 2015・2016年度
- 地域志向教育推進「小学校現職教員における授業力向上研修プログラムの確立と教員養成カリキュラムの融合」

具体的な活動

- 上記に示した2016年度COC事業では、新座市立野寺小学校と新座市市立新開小学校と共同体制で、現職教員の研修プログラムの在り方を探る研究に取り組んでいる。野寺小では算数科と理科を、新開小では国語と体育を中心とした研修会参加や講演会実施の有効性、研究授業と授業後協議会の設定を切り口に研究を進めた。

か ざ ま ふ み あ き 風間 文明

人間生活学部 人間発達心理学科 教授

専門分野 社会心理学



活動の概要

【担当科目】「社会心理学概論」「グループ・ダイナミックス」「データ解析法」他
 【研究内容】●人が役割行動をどのように獲得するか。世間が自己にどのような影響を与えるか。
 主に質問紙調査を使った研究

地域連携・社会貢献活動

【COC事業】
 ●「学童保育における子どもの安全安心の確保と健全な育成を図るための取り組み」に参加

とう は た か い と 東畠 開人

人間生活学部 人間発達心理学科 講師

専門分野 こころのケア、臨床心理学



活動の概要

【研究内容】●こころのケアについて、古から近代医学、そして臨床心理学まで、幅広く扱っています。人の心はなぜ病み、どのようにして癒されるのかがテーマです。
 【著書】「美と深層心理学」「野の医者は笑う一心の治療とは何か」

現代社会における心の病と治療について、臨床実践とフィールドワークを中心にして研究を行っています。

地域連携・社会貢献活動

●NHK、朝日新聞、東京新聞、埼玉新聞、テレビ埼玉などで取り上げられた「新座市ふしぎマップ」を学生と共に作成しました。地域の方々のお話を伺い、新座市の魅力を発信しようとするプロジェクトです。

具体的な活動

●様々な場所にフットワーク軽く足を運び、お話を聞きして、それを本や発行物としてまとめる活動をしています。Twitterでの情報発信もしています。「Ktowhata」で検索ください。

か し わ ば し ゆ う じ 柏葉 修治

人間生活学部 人間発達心理学科 教授

専門分野 臨床心理学



活動の概要

【担当科目】「カウンセリング理論」「面接法」「教育相談」「生徒指導」他
 【研究内容】●心理カウンセリングにおける臨床的面接法を用いた事例のプロセスについての研究

地域連携・社会貢献活動

●首都圏のカウンセリングセンターにおいて、ボランティアでカウンセリング活動をしている。

具体的な活動

●今後、地域の学校における教師への教育相談場面におけるカウンセリング研修などに協力支援していきたい。

や ま し た と も み 山下 倫実

人間生活学部 人間発達心理学科 准教授

専門分野 社会心理学(親密な人間関係の進展と崩壊)



活動の概要

【担当科目】「心理学情報処理法」「恋愛・結婚の科学」「対人関係の心理学」他

【研究内容】●恋愛関係が崩壊してから、どのように人が立ち直っていくかという研究をしている。特に、立ち直りに影響を及ぼすSNSにおける相互作用やソーシャル・サポートの効果などに興味を持っており、最近は、産後に変化していく夫婦関係にも着目している。

地域連携・社会貢献活動

●乳幼児期のお子様を育てているお母様、お父様方を対象に、出産後の心身のケアや夫婦関係のあり方などについて、女子大学生と一緒に学ぶ機会を提供している。

か と う あ き こ 加藤 陽子

人間生活学部 人間発達心理学科 准教授

専門分野 学校カウンセリング(困難を抱える子どもやその親への支援)



活動の概要

【担当科目】「発達・教育相談」「児童期から青年期の心理臨床」「児童期の心理学」他
 【研究内容】●不登校やいじめへの支援方法 ●校内の教育相談体制構築
 ●産後の母親支援 ●女子大生への親教育

地域連携・社会貢献活動

●埼玉県 保護者や教員のための不登校セミナー 2015 講師(「子どもを支えあうために」)
 ●「子ども教育支援財団柏分室 平成27年度第2回教育シンポジウム」講師(「親と教師にできる自信の届け方」)
 ●「港区つばさ教室平成27年度研修会」講師(「不登校の子どもとその保護者を 支えるために」)
 ●「平成27年度 狹山市民大学 生きがい学科」講師(「高齢者と他世代関係」)
 ●「女子大生と産後講座」主催(「産後女性の心と身体について考える」)

具体的な活動

●学校カウンセリングの知見を活かし、地方自治体や親の会、民間の支援団体にて、「不登校児童生徒や保護者へのサポート」に関する講演や研修会、ワークショップを多数行っています。また、「女子大生と産後講座」と題して、NPO法人マドレボニータから講師を招聘して、女子大生と産後の母親がともに学びあう講座を平成26年度から定期的に継続して開催しています。

わ た い ま さ や す 綿井 雅康

副学長／人間生活学部 人間発達心理学科 教授

専門分野 教育心理学



活動の概要

【担当科目】「教育心理学」「心理統計法」「コミュニケーションの心理学」

【研究内容】●文章を読んで理解し知識を形成する過程、説明的な文章を産出する過程に関する実証的な研究に取り組む。また、児童生徒を対象に開発した教材的な心理検査について、学級経営や生徒理解・指導に活用する実践的な研究に取り組む。

地域連携・社会貢献活動

●新座市内の公立学校での教員研修の講師・研究授業の助言者
 ●志木市教育委員会いじめ防止対策委員会・委員
 ●都内公立学校学校評議員 ●教育委員会等主催の研修会講師

具体的な活動

●連携市内の小中学校で活動する学校支援ボランティア学生のとりまとめや事前指導を担当している。
 ●上記【研究内容】で述べた「心理検査の活用に関する実践的な研究」は、連携市内の学校に協力を依頼して進めており、先生方の実践に資することを主たる目的にしている。

子ども学・福祉

3

いしだ ゆうり
石田 有理

人間生活学部 人間発達心理学科 講師

専門分野 発達心理学、子どもの思考と学びの発達



活動の概要

- 【担当科目】「乳幼児期の心理学」「行動観察法」「発達心理学外書講読」他
 【研究内容】● 幼児期の知識獲得における分類、比較、推論等の発達過程についての研究
 ● 幼児期の学習における大人の支援の在り方
 ● 教材の効果に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 乳幼児を育てている母親・父親が女子大生とともに、産後のケアや、子どもの発達、パートナーシップなどについて学ぶ講演会やワークショップなどを企画している。

いじゅういんみちこ
伊集院 理子

人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野 幼児教育学、保育学



活動の概要

- 【担当科目】「保育者論」「保育内容の指導法(人間関係)」「保育・教育課程論」他
 【研究内容】● 幼稚園の現場の具体的な事例から、一人ひとりの子どもの成長発達を促す保育実践の在り方を探求する。日本の幼稚教育実践の中で継承されてきた保育という営みについて、歴史的な視点からも探求することで、今求められている保育の質について考察する。

具体的な活動

- この春から、長年暮らしてきた新座市で勤務することになった。これまでには、ほぼ寝に帰っている状況であったが、これからは、一日中新座で暮らす生活となり、地域と深くつながって活動をしていきたい。

いとう よういち
伊藤 陽一

人間生活学部 人間福祉学科 准教授

専門分野 子ども家庭福祉、児童福祉施設の専門職の在り方、
学童期の子育て・子育ち支援



活動の概要

- 【担当科目】「児童・家庭福祉論」「社会的養護論」「障がい児保育」他
 【研究内容】● 児童福祉施設の専門職の養成及び育成の在り方の研究
 ● 児童虐待を受けた子どもに対する支援の研究

地域連携・社会貢献活動

- 社会福祉法人ユウカリ福祉会 理事 ● 社会福祉法人川崎愛児園 児童養護施設川崎愛児園評議員
 ● 神奈川県社会福祉事業団 児童養護施設すまいる第三者委員
 ● 特定非営利活動法人「風」(子どもの健全育成)理事長

具体的な活動

- 大学の学部を卒業した後、子ども家庭福祉、保育の現場で専門職として働いておりました。知識理論と現場での実践が乖離しない授業を目指します。
 ● 乳児院・児童養護施設等における職員研修及び保護者支援講座講師
 ● 保育所・児童館・放課後児童クラブ等における職員研修及び保護者支援講座講師

太田 真智子

人間生活学部 人間福祉学科 准教授

専門分野 障がい者福祉、高齢者福祉



活動の概要

- 【担当科目】「障害者福祉論」「就労支援サービス」「社会福祉の歴史」「障害の理解」他
 【研究内容】●障害のある当事者の思い ●障害者虐待防止
 ●専門職について ●介護技術等々

地域連携・社会貢献活動

- 新座市障がい者施策委員会委員を務めています
- 介護職員初任者研修講師を務めています
- 新座地域の福祉事業所の方々と共に、研修会を継続的に開催しています

具体的な活動

- 障害のある方が暮らす施設での経験を活かし、「当事者から学ぶ姿勢」を忘れず歩むことをモットーとしています。障がいのある人、家族の声を聴き、福祉を学ぶ学生に伝えたいと考えています。

鍛治 智子

人間生活学部 人間福祉学科 助手

専門分野 障害者福祉



活動の概要

- 【研究内容】●知的障害者の自立をめぐる親子関係について
 ●知的障害者と家族の地域生活支援について
 ●障害児・者のきょうだいの生活課題について

大山 博幸

人間生活学部 人間福祉学科 准教授

専門分野 対人援助論、傾聴訓練と傾聴ボランティア活動の支援



活動の概要

- 【担当科目】「ソーシャルワーク論や相談援助演習」「ケア論」「教育原理」他
 【研究内容】●現場福祉職の自己省察による自己覚知獲得支援をテーマに、欧米の動向も含んだ自己覚知論の検討、
 自己覚知獲得を効果的に促進するワークシートやその手法の開発と評価
 ●社会福祉士となるための実習教育の教材やその方法について開発、施行、研究

地域連携・社会貢献活動

- COC事業】●介護保険施設で認知症高齢者を対象に傾聴実践を行っています。また
 傾聴活動に参加する学生に対しては傾聴技術トレーニングという視点から、効果的な
 傾聴トレーニングの方法やその評価を行った研究を行っています。また新座市社会福祉協議会の主
 催で内の方を対象とした傾聴ボランティア養成講座を担当させていただきました。



片居木 英人

学科長／人間生活学部 人間福祉学科 教授

専門分野 福祉と人権、社会福祉法制、女性福祉



活動の概要

- 【担当科目】「くらしのなかの日本国憲法」「社会福祉概論I」「社会保障論I・II」他
 【研究内容】●売春防止法の現代的課題 ●セクシュアル・ライツをめぐる問題状況
 ●現代の社会福祉・社会保障における人権と法の総合的研究

地域連携・社会貢献活動

- 彩の国大学コンソーシアム公開講座講師
- 2015年度「人権視点から少子化、児童虐待問題を考える」
- 2016年度「尊厳の終命権を考える」

具体的な活動

- 【著書】『現代の社会福祉をめぐる人権と法』(単著 法律情報出版 2015年)
 『改訂 日本国憲法へのとびら—いま、主権者に求められること—』(共著 法律情報出版 2016年)

加藤 則子

副学長／人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野 子どもの健康増進と病気の予防、子どもの成長発達



活動の概要

- 【担当科目】「児童保健学I」「児童保健学II」「児童保健学演習」「健康教育学・健康教育学演習」
 【研究内容】●小児の身体発育、身体発育曲線の作成法 ●東日本大震災が小児の健康と発育に及ぼした影響に関する検討
 ●子育て技術の支援プログラムを地域の親に実施した場合の効果判定とよりよい介入法の開発
 ●地域の子育て支援ニーズの把握と提供体制に関する検討 ●不妊治療の普及がふたごの出生数やそのリスクに及ぼした影響

地域連携・社会貢献活動

- 大学でのプロジェクト研究として、新座、和光、志木、朝霞4市における官産学の連携に基づいた前向き子育て文化の醸成と子育て支援基盤の整備に関する取り組みを実施している。
- 国研、自治体、大学法人の研究評議委員等を務めた。

具体的な活動

- 前職国立保健医療科学院において、母子健康手帳に載せる乳幼児身体発育値を平成2年、12年、22年の3回にわたって作成してきた。
 平成32年値の円滑な作成に向けて前職場と連携して準備を進めている。
- 子育て技術を伝え、前向き子育てを推進する育児支援プログラム「トリプルP」をオーストラリアから日本に導入し、評価研究を実践し、普及に努めた。
- 児童虐待予防・再発防止のため児童相談所の親支援のためのマニュアルを作成した。

片居木 英人

学科長／人間生活学部 人間福祉学科 教授

専門分野 福祉と人権、社会福祉法制、女性福祉



活動の概要

- 【担当科目】「くらしのなかの日本国憲法」「社会福祉概論I」「社会保障論I・II」他
 【研究内容】●売春防止法の現代的課題 ●セクシュアル・ライツをめぐる問題状況
 ●現代の社会福祉・社会保障における人権と法の総合的研究

地域連携・社会貢献活動

- 彩の国大学コンソーシアム公開講座講師
- 2015年度「人権視点から少子化、児童虐待問題を考える」
- 2016年度「尊厳の終命権を考える」

具体的な活動

- 【著書】『現代の社会福祉をめぐる人権と法』(単著 法律情報出版 2015年)
 『改訂 日本国憲法へのとびら—いま、主権者に求められること—』(共著 法律情報出版 2016年)

上垣内 伸子

人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野 保育学、発達臨床学



活動の概要

- 【担当科目】「幼児教育学」「保育内容総論」「幼稚園教育実習」他
 【研究内容】【キーワード】幼児教育・保育、障害児保育、発達臨床相談、子育て支援、保育者養成
 ●幼児の自発的生活と遊びを中心とした保育と保育援助—その歴史と世界潮流
 ●日本の保育におけるESD(持続可能な開発のための教育)の在り方の検討
 ●ドキュメンテーション作成と保育カンファレンスを通じた保育者の成長と保育者養成(イタリア、ニュージーランド)
 ●妊娠期からの切れ目のない子育てのリスク支援の国際比較研究(イタリア、フィンランドなど)

地域連携・社会貢献活動

- COC事業】●幼児教育学科卒業生によるピアサポートとしての子育て支援 ●妊娠期からの切れ目のない子育て支援
- 社会的活動】●世界の保育者・保育研究者との交流 ●現職保育者の研究会企画・運営
 ●保育者、子育て支援者対象の研修会講師
- 福島の保育者との対話と支援 ●障害児の発達相談・保育相談
 ●乳幼児を持つ親を対象とした講演会講師

具体的な活動

- OMEP(世界幼児教育・保育機構)日本委員会副会長 ●NPO法人練馬春日町幼稚教室(障害児親子通園施設)理事・心理相談士
 ●都道府県、市町村(さいたま市、戸田市、練馬区、板橋区、目黒区など)および保育団体の幼稚園教諭・保育所保育士研修会講師および障害児保育巡回相談員
 ●訪問型子育て支援NPOトラスト
- 幼稚園、子育て支援センター、保健所などでの保護者向け講演会講師



COC事業：プラスママの子育てサロン(幼児教育学科卒業生によるピアサポートとしての子育て支援)

かめざきみさこ 亀崎 美沙子

人間生活学部 人間福祉学科 講師
専門分野 保育所における保護者支援、乳幼児期の地域子育て支援



活動の概要

【担当科目】「保育相談支援」「家庭支援論」「保育原理」「保育内容総論」「保育内容環境」「保育内容総論」「保育実習指導I・II」

【研究内容】●保育所保育士の行う保育の専門性を基盤とした保護者支援や地域子育て支援拠点に関する実践研究

地域連携・社会貢献活動

- えひめこどもの城運営委員
- 松山市子ども・子育て会議委員
- 全国保育士養成協議会専門委員

具体的な活動

- 子どもに関する施設運営・政策に関する各種委員会
- 保育士養成教育に関する調査研究
- 保育者を対象とした専門研修等、各種研修

さとうあきら 佐藤 陽

副学長／人間生活学部 人間福祉学科 教授／
次世代教育推進機構ボランティアセンター長
専門分野 地域福祉活動、福祉教育、ボランティア



活動の概要

【担当科目】「地域福祉論」「ソーシャルワーク論」「ボランティア・コーディネーション」

【研究内容】●要援護高齢者が主体となる地域で相互に学びあい・支えあう仕組みに関する研究(科研費)

- 貧困の連鎖を防止し学習支援に寄与する学校と地域協同による開発的福祉教育実践研究(科研費)
- 地域を基盤とする福祉教育に関する研究 ●地域包括ケアシステムと地域福祉力を統合化する基盤づくりに関する研究
- 双方向性のボランティア活動のあり方に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 埼玉県福祉でまちづくり研究会主宰 ●川越市障害者施策審議会会長 ●和光市地域自立支援協議会会長
- 和光市地域福祉計画・和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会委員長 ●その他社会福祉施設・機関の第三者委員、自治体の委員
- 自治体・社協・NPO等の研修や講座、事業に協力 ●ゼミでは赤い羽根街頭募金協力、地域の障害児者の余暇活動支援ボランティアを実施

具体的な活動

- 【共著】『就労支援で高齢者の社会的孤立を防ぐ』(ミネルヴァ書房 2016年)『新福祉教育実践ハンドブック』(全国社会福祉協議会 2014年)
『地域福祉の理論と方法』(みらい 2014年)
- ケアマネージャーと社協、地域住民向けの地域包括ケアや地域福祉の講演、ボランティア育成や支え合い講座、児童厚生員への地域福祉活動講義と演習、孤立防止フォーラムの基調講演 等
- 多様な社会福祉従事者と地域福祉活動実践者と現場で働く卒業生や在学生が学び合い実践につなぐプラットフォーム「福祉でまちづくり研究会」を実施

かわきたまさよ 川喜田 昌代

人間生活学部 幼児教育学科 準教授
専門分野 乳児保育、保育学、子育て支援



活動の概要

【担当科目】「乳児保育I・II」「保育実習総論I・II」「保育所保育実習I・II」「子育てと環境」「保育臨床学」「卒業研究」

【研究内容】●保育園での保育士の協働について実態調査(特に未満児クラス)

- 保育園における食育(アレルギー食)について ●児童館の役割について子どもや親、職員の実態調査
- 幼稚園・保育園における災害マニュアル作成に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 幼稚園の保護者対象の教育講演会講師 ●幼稚園における未就園児を持つ親子対象「ひよこの会」での子育て相談
- 東京都中央区児童館運営委員長(2014) ●世界の保育者・保育研究者との交流、福島の保育者との対話と支援
- OMEP(世界幼児教育・保育機構)日本委員会理事 ●NPO法人NCN(子育て支援、障害児ケア)代表(理事長)

具体的な活動

- 子育てにおいて、よりよい環境とは何か、親と子ども、子どもの仲間関係(障害を持つ子も含む)、保育者と子どもの関係、社会との関係の視点から考えています。また、NPO法人の活動を通して子育て中の親子支援など実践活動も行っています。

しおたにえみ 潮谷 恵美

人間生活学部 幼児教育学科 準教授

専門分野 社会福祉、子ども家庭福祉、ソーシャルワーク、児童福祉施設における援助



活動の概要

【担当科目】「社会福祉」「社会的養護」「子ども家庭福祉II」「施設実習I」

【研究内容】●子ども、家庭福祉に関わるソーシャルワーク、相談援助の専門性

- 社会的養護、乳児院、児童養護施設等の施設援助者の養成、育成
- 実習における実習受け入れ施設との連携のあり方

地域連携・社会貢献活動

- 保育所、児童養護施設、障害児施設等、社会福祉施設で行われる援助が利用者の権利を守るものとなるよう、専門性の向上や、職員の育成のために貢献すべく、研修、調査研究を行っている。
- 全国乳児福祉協議会 乳児院における小規模化の在り方検討委員会委員(2013年度)
- 乳児院の研修体系具体化にむけた検討委員(2015年～) ●第27回・第28回 社会福祉士国家試験 社会福祉士試験委員

具体的な活動

- 研修、講習活動(社会福祉士実習演習担当教員講習会(日本社会福祉士養成校協会主催)講師)
- 認定社会福祉士認証・認定機構2014・2015年度 認定社会福祉士特別研修講師 ●乳児院・児童養護施設、保育所における職員研修、スーパービジョン
- 文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「チームケアによる乳幼児の保健福祉支援プログラム開発に関する研究」(2013 - 2015年度) 分担研究者

けんみんあい 権 明愛

人間生活学部 幼児教育学科 講師
専門分野 発達臨床相談、発達障害、障害児保育、療育方法



活動の概要

【担当科目】「障害児保育」「相談援助」他

【研究内容】●発達相談・検査を活用した気になる子どもの発達支援 ●発達障害児者の認知特徴及び療育方法

- 障害児者施設における支援について
- 特別支援教育に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 埼玉県内障害者支援施設の実践アドバイザーと研修講師
- 埼玉県内私立保育園の発達相談員
- 国立障害者リハビリテーションセンター主催の「海外発達障害支援制度情報交換会」の委員

具体的な活動

- 発達が気になる子ども、集団保育・教育の環境の中で躊躇している子どもの発達相談、発達検査を通して現場の保育者・教育関係者及び保護者に具体的なかかわり方を提言することを目的として、実践的研究を行っています。また、障害者支援施設の支援員を対象に障害者の理解及び支援方法についてアドバイザーとして一緒に検討しています。2016年度は、新座市の地域の保育所と幼稚園の中でもモデル園を設置し、保育者育成に繋がる発達相談モデルの構築を目指す活動(2016年度COC事業)を展開しています。

すずきはるこ 鈴木 晴子

人間生活学部 幼児教育学科 講師

専門分野 障害のある子どもの発達支援や育児相談、絵本の読みあいの醍醐味の紹介等



活動の概要

【担当科目】「子ども家庭福祉」「社会的養護内容」「相談援助」「施設実習」

【研究内容】●最近では、保育者の障害のある子どもとの向き合い方について研究も行っています。長く続けている研究は、子どもと親との絵本の読みあいです。

地域連携・社会貢献活動

- 子育てについて保護者の方と一緒に考え、喜びや難しさを分かち合う相談事業をライフワークにしています。
- 保育所や幼稚園などで保育実践における子ども理解や、保育の捉え方を保育者と共に検討することも続けてきました。

具体的な活動

- 子どもを育てる保護者や保育者と出会うとき、子どもの育ちに対する温かな願いを感じます。特に障害のある子どもを育てる保護者の方々、その子どもの保育に携わる保育者の方々の子ども理解の手助けと関わり方にに対する助言を行っています。また、インクルーシブな環境になるよう、保育者養成課程の更なる充実に向けた研究にも着手しています。

す ず き ま さ こ
鈴木 雅子人間生活学部 人間発達心理学科 講師
専門分野 学校保健、性教育、リプロダクティブ・ヘルス／ライツ

活動の概要

- 【担当科目】「学校保健」「養護教諭実践論」「公衆衛生学」
【研究内容】●学校保健から職域保健・地域保健の連携に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 平成28年度 十文字学園女子大学公開講座
「鍛えよう！子どもの心と体シリーズ」Part1～こころのケアと最新の知能検査について～ 開催

具体的な活動

- 助産師・養護教諭としての経験を活かし、リプロダクティブ・ヘルス／ライツを軸に生涯を通じた性教育の進め方に関心を持っています。

な が た み す え
長田 瑞恵人間生活学部 幼児教育学科 教授
専門分野 発達心理学、教育心理学、保育

活動の概要

- 【担当科目】「児童学演習」「発達心理学」「児童学研究法」他
【研究内容】●幼児期の認知発達
○保育と子どもの育ちの関係
●幼小連携
○メディアリテラシー

地域連携・社会貢献活動

- 【COC事業】
●1年次児童学演習で新座市周辺の子育て関連施設と連携をとりながら、地域に根差した社会理解と保育者養成を目指しています。
【その他地域連携活動】
●学内のプロジェクト研究として、キャンパス周辺の放課後学童保育室の抱える問題について取り込んでいます。

具体的な活動

- 【現在までの学外での活動】
●新座市内の家庭保育室（無認可保育所）での発達相談・理事（保育担当）
【最近出版した本・出演メディア等】
●『母親になること』（共著 金子書房 2011年）
●『何をどう感じるか』『見え方のルール』（共著 保育出版 2015年）
●『発達過程に応じた保育』（共著 萌文書林 2012年）

す ず き や す ひ ろ
鈴木 康弘

人間生活学部 幼児教育学科 准教授

専門分野 スポーツ心理学、保育学



活動の概要

- 【担当科目】「幼児運動論」「保育内容の指導法（健康）」「体育基礎I（子どもと運動）」他
【研究内容】●幼児期の運動能力の年次推移（全国調査）
○幼児期の運動能力を育むための援助について
●幼児期の運動遊び経験と心理的・社会的発達との関係について



2016年度 子ども元気プロジェクトの様子

地域連携・社会貢献活動

- 町田市教育委員会「乳幼児の保護者向け家庭教育力アップ講座」講師
- 北区教育研究会・就学前教育部会 研究会講師
- （財）川崎市保育会保育特別対策委員会「健康班」研究会講師 等
- 新座市子ども・子育て会議委員、三鷹市スポーツ推進審議会委員

具体的な活動

- 幼児の運動能力を育むための環境設定や援助、幼児期の運動遊び経験と心理的・社会的発達との関係を検討することを目的として、実践的研究を行っています。2016年度は、子ども元気プロジェクト（2016年度文部科学省知（地）の拠点補助事業）において、「かけっこ忍者塾」や「わくわくチャレンジ」などを展開しました。得られた研究成果を各種メディアや講演、園内研などを通して社会還元できるように努めています。

に へ い
二瓶 さやか

人間生活学部 人間福祉学科 講師

専門分野 高齢者福祉



活動の概要

- 【担当科目】「介護基礎」「介護過程基礎」「生活支援技術展開」
【研究内容】●介護福祉士の専門性や介護福祉士養成教育のあり方に関する研究
●要介護高齢者に対する介護サービスに関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 介護福祉士国家試験委員
- 介護職員初任者研修講師

具体的な活動

- 介護福祉士の専門性の向上・確立を目指して、介護の実践現場と連携を図りながら介護福祉士の養成教育・介護サービスに関する調査研究を進めたいと考えています

と み い と も こ
富井 友子

人間生活学部 人間福祉学科 講師

専門分野 高齢者福祉、地域ケア



活動の概要

- 【担当科目】「高齢者に対する支援と介護保険制度I・II」「介護と地域」「相談援助実習指導」「社会福祉実習」「卒業研究」
【研究内容】●要介護高齢者の地域生活継続に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 新座・地域ケアの集い 世話人（平成28年度 地域連携共同研究所研究代表 野島靖子准教授）
- 認知症カフェ（平成28年度 地域連携共同研究所研究代表 太田真智子准教授）
- 認知症サポーター養成講座講師（平成27年度 養成講座2回、平成28年度 1回実施）
- 新座市社会福祉協議会主催介護職員初任者研修講師
- 新座市認知症総合事業検討委員会委員（平成28年度）
- NPO法人暮らしネットえん 理事
- 社会福祉法人燈 評議員

具体的な活動

- 高齢の方が安心して暮らし続けられる地域づくり
- 地域の事業所の方々をつなぐ役割を果たしていかたいと思っています。

の じ ま や す こ
野島 靖子

人間生活学部 人間福祉学科 准教授

専門分野 高齢者福祉、介護



活動の概要

- 【担当科目】「日常生活支援技術」「介護実習指導」
【研究内容】●地域ケア
●生活困窮者支援

地域連携・社会貢献活動

- 「新座・地域ケアの集い」世話人
- 「ほっとカフェ@十文字」プロジェクトメンバー
- 埼玉県中山間地域ふるさと支援隊事業受託

具体的な活動

- 「新座・地域ケアの集い」は10年ほど前から、新座市内の介護事業所の方々と協働し、勉強会やイベントなどを開催
- 「ほっとカフェ@十文字」を地域の高齢者の方のために開催
- 中山間地域を学生と共に訪問



秩父石間収穫祭で花輪踊りを披露

ふくだともお 福田智雄

人間生活学部 人間福祉学科 教授

専門分野 子育て支援



活動の概要

【担当科目】保育士養成科目である実習や相談援助に関する科目を担当
 【研究内容】●研究テーマとしては、学童保育など子育て支援について課題としている。

地域連携・社会貢献活動

●学童保育などの基盤を強固にするためにも、学童保育指導員の皆様に対する研修については、できるだけ協力したいと考えている。

具体的な活動

●子育て支援、学童保育、子どもに関することについてできるだけ広い分野で活動を深めたい。

むかいみほ 向井美穂

人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野 子育ち・子育て支援、臨床心理、発達臨床心理



活動の概要

【担当科目】「子育て支援論」「保育・教育相談」「発達臨床論」「保育所保育実習」他
 【研究内容】●親子関係の構築についての実践研究

- 「対話と傾聴」を基本とした子育て支援の有効性についてフィンランドにおけるネウボラの実践からの検討
- 地域の子育て支援と保育・教育との連携に関する検討
- 子育て支援の国際共同研究

地域連携・社会貢献活動

- 各自治体、幼稚園、保育所等主催の子育てに関する講演会講師
- 保健所等における親子の心理相談
- 保育所での巡回相談
- COC事業における地域子育て支援に関する公開研究会開催
- 清瀬市子ども・子育て会議委員 新座市児童福祉審議会委員 他

具体的な活動

●子どもが育つ為に必要な人の関係、主に親子関係を中心に研究を進めています。その上で、子育てを楽しめる社会となるには何が必要かを考え続けています。私自身がその必要な要素を提供するための一員となることを目指して、実践及び研究そして教育の側面から、継続的に活動を続けています。子どもそしてその育ちを支える人々の力になる活動ができる事を目指しています。

ふせはるみ 布施晴美

人間生活学部 人間発達心理学科 教授

専門分野 子どもの看護、子どもの保健



活動の概要

【担当科目】「小児保健看護学」「看護学概論」「看護援助方法」「保育内容演習I(健康)」他
 【研究内容】●多胎育児支援に関する研究

- 放課後児童クラブの子どもたちの安全安心と健全育成に関する研究
- 養護教諭の看護学に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 埼玉県放課後児童クラブ支援員研修会講師
- 多胎児家庭対象の多胎育児教室の講師
- 保健師対象の多胎育児支援研修会講師
- 子育て支援センタースタッフ研修会講師
- 乳幼児保護者対象の子どもの健康に関する講座の講師 等
- 【COC事業】
●学童クラブでの安心安全の確保と健全な育成を図るために取り組みに関する研究(代表)

具体的な活動

●自身も多胎児の母親であることから、専門性をいかして多胎育児支援に関する活動を行っている(NHK-Eテレ「すくすく子育て」双子の育児に出演)。また、乳幼児を中心とした子どもの事故防止や病気に対する看護など母親向けの講座も担当している。さらに、放課後児童クラブの支援者スキルアップの研修において、学童期の子どもの安全管理と事故防止、応急手当などに関する講座を担当している。

やすだてつや 安田哲也

人間生活学部 人間発達心理学科 有期助手

専門分野 発達心理学、言語心理学



活動の概要

【研究内容】現コミュニケーションや意図伝達について研究をしています。明示できない非言語情報の相互作用における、意図理解や意図推定の過程に興味を持ち、それらの知見を実験心理学的アプローチを用いて調べています。

- 【キーワード】●非言語情報の利用・理解
- ジェスチャー
- 言語獲得

地域連携・社会貢献活動

- 自閉スペクトラム症児・者及びその保護者の方たちへの支援
- 【COC事業】
●学童クラブでの安心安全の確保と健全な育成を図るために取り組みに関する研究(研究協力)

みやうちとしひこ 宮内寿彦

人間生活学部 人間福祉学科 教授

専門分野 社会福祉学、介護福祉(理論・方法論・教育方法・制度)



活動の概要

【担当科目】「社会福祉概論II」社会福祉関係法制度及び関係機関の役割について学ぶ。
 「基礎介護論I-II」介護の歴史、思想、理論について、介護福祉学の基礎を学ぶ。
 「介護と倫」代表的な倫理学について、介護現場の事例をもとに理論と融合し学ぶ。

地域連携・社会貢献活動

- 介護福祉士養成大学連絡協議会 会長 ●社会福祉法人 永寿会 理事
- 公益社団法人 介護福祉士養成施設協会 学力評価委員会問題作成委員
- 公益社団法人 介護福祉士養成施設協会 総務・企画委員会委員
- 公益社団法人日本介護福祉士会 埼玉県介護福祉士ファーストステップ講習会講師
- 公益社団法人日本介護福祉士会 埼玉県介護福祉士実習指導者講習会講師／東京都日野市介護保険運営協議会 委員
- 東京都日野市地域包括支援センター運営協議会 委員 ●東京都日野市地域密着型サービス運営委員会 委員
- 東京都日野市在宅高齢者療養推進協議会 委員

具体的な活動

●介護福祉士養成大学連絡協議会では、「四年制介護福祉士養成大学の教育の強みはどこにあるのか、独自科目、独自の教育方法を可視化するデータを示す」ことをテーマに、全国の加盟大学の教員と研究を進めている。埼玉県介護福祉士実習指導者講習会では、介護現場で勤務する実習指導者への教育研修を実施。



やまぐちゆみ 山口由美

人間生活学部 人間福祉学科 准教授

専門分野 介護福祉、ケアマネジメント



活動の概要

【担当科目】「認知症の理解」「こことからだのしくみ」「医療を必要とする人への介護」
 【研究内容】●認知症の人及び家族介護者へのケア

- 利用者及び介護者双方にとって安全で安楽な介護技術

地域連携・社会貢献活動

- 地域志向教育研究として、志木市子育て支援ネットワークと共に親子支援事業をおこなった。(平成28年度)
- 地域連携共同研究所研究(野島靖子准教授代表)として、「ほっとカフェ@十文字」を2回開催した。(平成28年度)
- 地域連携共同研究所研究(太田真智子准教授代表)として、新座・地域ケアの集いの運営に協力した。(平成28年度)

具体的な活動

- 志木市子育てネットワークと共にカブラブロックを用いたワークショップにゼミ生と参加した。
- 子育てネットワークの方々と地域の子育てニーズについて一緒に考え、活動した。
- 「ホットカフェ@十文字」では、地域の方たちと交流した。
- 「新座地域ケアの集い」については、地域の方たちと、勉強会や映画会などを開いた。



やまだ ようこ
山田 陽子

学科長／人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野 保育学、障害児保育



活動の概要

- 【研究内容】● 障碍のある子どももない子どもも、一人一人が集団の中で明るく楽しく伸び伸びと生活しながら、その子らしく成長していくことを保障するために必要な、保育者側の共感的な理解と保育援助のあり方を学生とともに深く学ぶ。
- 子ども達が日常的に遊んでいる、砂遊びやごっこ遊びや鬼ごっこ等に込められているそれぞれの遊びのおもしろさの中身や遊ぶ中で培われる子どもの発達について主体的に考え、知識を構築し、さらに保育者の遊びへの援助の仕方について実践も交えながら学生とともに楽しく深く学ぶ。

地域連携・社会貢献活動

- 公民館主催による「子育て応援講座」や「保育サポーター研修会」に講師として参加
- 保護者主催の「障害のある青年の部の集い」にスタッフとして参加

具体的な活動

- テーマは「今どきの子育て事情」「すぐに役立つ保育の学び」などで、育児や保育の実践に役立つことを学び合う。
- 青年達と週に1回程度集まって、お料理・造形活動・音楽活動・散歩・外食などをして、共に生活を楽しむ。

よこい ひろこ
横井 紘子

人間生活学部 幼児教育学科 講師

専門分野 保育、子ども、遊び



活動の概要

- 【担当科目】「保育内容の指導法(健康)」「保育内容の指導法(言葉)」「保育内容総論」「保育学」「幼稚園教育実習」他
- 【研究内容】● 子どもの遊びや生活についての現象学的研究
- 保幼小連携

地域連携・社会貢献活動

- 平成25年度 埼玉県国公立幼稚園教育研究会講演会 講師
「子どもの育ちを支える幼小連携を探る一何をどのように『つなぐ』のかー」

具体的な活動

- 子どもの世界の奥深さを探るため、保育現場等でフィールドワークをしています。遊び、時間や空間、モノ、言葉、他者など、人間にとて身近なテーマから事例を考察し、子どもの生きている世界を描き出すことをめざしています。また、0歳と3歳の娘を子育て中で、娘たちからも様々なことを気づかされる日々です。子育てや保育のノウハウではなく、子どもの世界を豊かに感じる力の大切さを、私も子どもたちから学びながら発信ていきたいです。



4

食・栄養

有田 安那

人間生活学部 健康栄養学科 助手

専門分野 栄養学



活動の概要

- 【担当科目】「基礎栄養学実験」「食品衛生学実験」「生化学実験」「食品学実験」
 【研究内容】●亜鉛の生理機能の解析
 ●鉄吸収調節に関する研究

井手 隆

大学院人間生活学研究科／人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 栄養化学、食品機能学、分子生物学



活動の概要

- 【担当科目】「食品衛生学」「人間生物化学」「食品衛生学実験」
 【研究内容】●脂質代謝の改善は高脂血症とこれに起因する動脈硬化症および肥満などの生活習慣病の予防治療に効果である。私共は健康に寄与する食生活への指針の提示および新奇機能性食品の開発に資することを目的に、食品と食品成分が生体の脂質代謝に与える影響に関して、動物実験により解析を行っている。具体的には肝臓の脂肪酸代謝系(脂肪酸合成と脂肪酸酸化系)の酵素の活性と遺伝子発現の制御に関して詳細な解析を行っている。

地域連携・社会貢献活動

- 日本栄養・食糧学会代議員
- 日本食物繊維研究会評議員
- 食品新素材協議会学術委員
- 日本ゴマ科学会評議員
- 油脂・コレステロール研究会理事

池川 繁樹

学科長／人間生活学部 健康栄養学科 教授

専門分野 運動生理学、バイオメカニクス



活動の概要

- 【担当科目】「運動生理学」「バイオメカニクス」「解剖生理学実験」
 【研究内容】●身体組成
 ●大学スポーツ選手の栄養サポート
 ●地域高齢者の健康問題
 ●身体活動量の測定

地域連携・社会貢献活動

- 新座市における高齢者の健康調査
- 体力測定

具体的な活動

- 大学準硬式野球選手、ウェイトリフティング選手、バスケットボール選手の栄養サポート
- 身体活動量の測定
- 地域高齢者の健康調査、体力測定

井上 久美子

人間生活学部 食物栄養学科 准教授

専門分野 健康教育、栄養教育、食育



活動の概要

- 【担当科目】「栄養教育論I・II」「栄養教育論実習I・II」「栄養教諭実践論I・II」他
 【研究内容】●ライフステージやライフスタイルに応じた効果的な栄養教育・食育の検討

地域連携・社会貢献活動

- 地域連携研究所・COC事業「食育で育む管理栄養士の専門性」プロジェクトでは、
 ①幼稚園や小学校での食育活動
 ②若い女性を対象とした和食講座や、市民まつりの運営補助など
- 幼稚園や小学校で、保護者や教職員を対象とした食に関する講演など



石井 和美

人間生活学部 食物栄養学科 助手

専門分野 調理科学



活動の概要

- 【担当科目】「応用栄養学実習」「調理学実習」の助手
 【研究内容】●雑穀粉を利用したグルテンフリーパンの製パン性に関する研究
 ●雑穀粉で調製した主食用パンの開発

地域連携・社会貢献活動

- 平成27年度 新座市社会福祉協議会との連携「会食ふれあい事業調理ボランティアさんの調理教室」で助手を務めた。

岩本 珠美

人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 臨床栄養学、食生活学



活動の概要

- 【担当科目】「臨床栄養学III」「臨床栄養学IV」「臨床栄養学実習II」「臨床栄養臨地実習」「実践臨床カウンセリング論(演習含む)」他
 【研究内容】●動脈硬化予防のための食事療法に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 地域志向教育として、新座市保健センターと連携を取り、「健康まつり」への協力や地域の方への調理教室の補助などを実施している。
- 地域で採れた食品の機能性の探索やレシピの開発を行っている。
- 平成28年度より、清瀬市健康推進計画の策定に委員として関わっている。

具体的な活動

- 新座市保健センターとの連携においては、「健康まつり」の協力として、学生が作成した健康教育ポスターの提供
- 小・中学生に配布する食育普及啓発用クリアフォルダのデザインを学生が考え提案
- 健康講座で配布するレシピ・リーフレットの作成
- 地域で採れた食品の機能性の探索やレシピの開発についても継続して実施する予定

岡本 節子

人間生活学部 食物栄養学科 準教授
専門分野 調理学、高齢者の栄養管理、介護食



活動の概要

- 【担当科目】「食事計画論I・II」「調理学実習II・IV」
- 【研究内容】●要介護高齢者の食支援、介護食の研究 ●高齢者向けの真空調理レシピの開発
- 女子スポーツ選手の食事調査

地域連携・社会貢献活動

- 【COC事業】●新座市NPO法人高齢者施設の食事サービスへの取り組み
- 地域の食材を使用した栄養価値のある商品の開発
- 新座市地域住民全身持久力の測定と運動指導と食事指導
- 【その他】●新座市立栄公民館料理教室



新座市立栄公民館での男の料理教室の様子

木村 靖子

人間生活学部 健康栄養学科 教授
専門分野 調理科学、給食経営管理学



活動の概要

- 【担当科目】「調理学・実習」「食事計画論・実習」「給食計画・実務論」「給食運営実習」他
- 【研究内容】①新食品素材(桜葉、藻類、粉末かんぴょう、発酵食品など)を利用した料理の嗜好性および調理特性
②トマトの消費拡大を目的としたトマトレシピの検討 ③ヒトの食行動、食意識の家庭内での伝承 ④宇宙環境における食資源に関する研究
⑤給食施設における米飯の品質管理に及ぼす変動要因の検討 ⑥女子大生の朝食欠食習慣に対する栄養教育の効果など

地域連携・社会貢献活動

- 平成27、28年度 地域連携共同研究所 プロジェクト研究「十文字学園女子大学シニア健康教室」において、
参加者のシニア世代の皆さんに管理栄養士の立場から「食生活を考える」のミニ講義を行う。
- 平成27、28年度 地域連携共同研究所 COC地域志向教育研究「食で育む管理栄養士の専門性」において、「プロの調理人による和食文化
セミナー」と「新座市 親子DEミニワーキング＆スタンブラー」の活動をアシストした学生を指導
- 埼玉県産米を活用した料理レシピ開発の指導(平成28年)
- JAあいちとのコラボ授業をおとして学生に青果物の普及およびレシピ開発を指導(平成27年大葉、平成28年ふき)



具体的な活動

- 【新座市NPO法人高齢者施設の食事サービスへの取り組み】
●グループホームとグループリビングに入所する高齢者の夕食献立の作成をゼミ生と共に、高齢者の健康を支え、行事食や美味しい食べやすい食事を提案し、施設への訪問活動を行っている。
- 【地域の食材を使用した栄養価値のある商品の開発】●地域の食材を使用した栄養価値のある商品の開発を行っている。
- 【新座市地域住民全身持久力の測定と運動指導と食事指導】●十文字フットボールチーム選手を対象に食事調査を行い、食事のバランス、補食の摂り方等の支援を行う。
- 【新座市立栄公民館料理教室】●学生と共に男性を対象とした料理教室「3種類のカレーの食べ比べ」を行う。

折口 いづみ

人間生活学部 食物栄養学科 助手
専門分野 食品科学



活動の概要

- 【担当科目】「食品化学実験」「解剖生理学実験」等の助手
- 【研究内容】●病態モデルによる食品成分の相互作用による相乗的脂質代謝改善効果の分子基盤の解明
●新規低温乾燥技術による粉末食品の香気特性の研究

梶野 涼子

人間生活学部 食物栄養学科 講師
専門分野 食品化学



活動の概要

- 【担当科目】「食品学II」「食品化学」「食品加工学実習」「食品化学実験」
- 【研究内容】●各種食卵(5種:アヒルやダチョウなど)の消化性:消化性の把握により、生体内での栄養学的利用性やアレルゲン性の強さが推察できる。鶏卵以外の食卵の消化性を鶏卵と比較、また消化性の高まる調理条件を調べている。
- 各種食卵の卵黄の科学と利用性:鶏卵以外の食卵卵黄の乳化性を鶏卵卵黄と比較。鳥種による乳化性の違いを利用した特徴あるマヨネーズの開発を目指している。

地域連携・社会貢献活動

- 平成23年度 新座市内大学公開講座
高齢期の心豊かな生活のために「楽しく食べて、いきいき健康」の担当助手

金高 有里

人間生活学部 食物栄養学科 講師
専門分野 妊娠期の栄養、生活習慣病、おいしさと調理科学、食教育



活動の概要

- 【担当科目】「調理学」「調理学実習」「応用栄養学実習」他
- 【研究内容】●妊娠期の栄養が将来の生活習慣病に及ぼす影響について
●発達の段階に適した食事(離乳期～学童期)に対する調理科学的検討
●発達段階に合わせた食事と食教育について ●肥満と摂食調節について
●食における産学官共同事業について

地域連携・社会貢献活動

- 地域の保育園において園児を対象とした調理実習と食育活動
- 小学生を対象とした調理実習と食育活動(ミルクを使った調理実習とミルクの食育、地域の小麦を使ったパン作り教室、地域の小麦を使ったうどん作り教室、教育委員会生涯学習講座「食べ物についてたくさんの発見をしよう」など)
- 市民公開講座「いきいき健康! e-(いー)食育!」「肥満と生活習慣病とメタボリックシンドローム」等
- サテライトキャンバス「肥満予防と健康のためのおいしい話」 ●I型糖尿病スマーキャンプでの管理栄養士の取り組みに参加
- 会食ふれあい事業ボランティアさんのための調理実習
- 地域の食材を用いたスイーツの開発と地域マルシェ・地域カフェでの販売



工藤 貴子

人間生活学部 食物栄養学科 助手
専門分野 調理科学



活動の概要

- 【担当科目】「調理学実習」「食品の官能評価・鑑別論」の助手
- 【研究内容】●主食へのおからの有効利用に関する調理科学的研究
●市販だしの素・つゆの成分および嗜好性に関する研究
●料理において実際に喫食される食塩量に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 埼玉県教育委員会主催 平成28年度 第2回 高等学校調理講習会 助手

くりさき じゅんいち
栗崎 純一

大学院人間生活学研究科／人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 食品学、食品生化学、食品機能学、食品加工学



活動の概要

【担当科目】大学院：「食・健康と栄養の科学総合特講」「食科学特講」「食・健康と栄養の科学」「食科学概論」「食品学特論II」

総合演習/学部：「食品学I」「食品化学実験」「食品加工学」「食品加工学実習」「食物栄養学演習」「卒業研究」

【研究内容】● ダチョウ卵など各種鳥卵たんぱく質からの新たな有用機能の開発・利用

● 食物アレルゲンのアレルゲン性低減化 ● ベプチドや乳酸菌を利用した機能性食品の開発

● 食物繊維摂取増加と環境負荷軽減をめざした、おから含有食品の開発・利用



地域連携・社会貢献活動

●埼玉県食の安全県民会議委員

●(公社)フードスペシャリスト協会専門委員

●日本食品免疫学会評議員

●日本食品科学工学会

●日本栄養・食糧学会

●日本農芸化学会

●日本アレルギー学会等会員等

具体的な活動

●研究成果を地域や社会で生かせるよう、食品に関する基礎研究を進めている。

また、これまで蓄積した研究成果の活用方策について、業界等各方面の専門家とも検討し、成果の普及をめざしている。

研究開発した食物繊維リッチヌードルを学園祭で提供

ささき なほ
佐々木 菜穂

人間生活学部 健康栄養学科 講師

専門分野 栄養学



活動の概要

【担当科目】「基礎栄養学」「基礎栄養学実験」「応用栄養学」「応用栄養学実習」「解剖生理学実験」他

【研究内容】●ハーブサプリメント成分の安全性評価に関する研究

地域連携・社会貢献活動

●十文字学園女子大学シニア健康教室 ミニ講義「高齢期の栄養を考えよう」(平成28年)

●埼玉県製菓衛生士試験委員(平成27-29年)

●新座市内大学公開講座シニアのための調理教室 助手(平成24年)

●新座市社会福祉協議会主催 会食ふれあい事業調理ボランティアさんのための調理教室 助手(平成21-22年)

こながい
小長井 ちづる

人間生活学部 健康栄養学科 準教授

専門分野 食品機能学、食品生理学



活動の概要

【担当科目】「食品学」「食文化概論」「食品加工学」他

【研究内容】●食品の味や香りが脳の機能に与える影響に関する研究

地域連携・社会貢献活動

●日本臨床神経生理学会代議員

●日本家政学会関東支部若手の会幹事

具体的な活動

●嗜好飲料の香りを中心に、食品のリラックス効果や脳機能の賦活効果について、脳波や脳血液量測定などの方法を用いて研究を行っている。「食」を通して人々の健康維持やアンチエイジング、生活の質の向上に貢献していきたいと考えている。



こばやし みちこ
小林 三智子

学科長／人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 味の感じ方、食品の物性



活動の概要

【担当科目】大学院：「調理科学特論」 学部：「応用栄養学」「応用栄養学実習」

【研究内容】●若年女性の味覚感受性の心理物理学的研究 ●味覚変容物質による味の変化

●気分の変容による味の感じ方の違い ●ストレス負荷における味覚感受性と自律神経活動の変化

●雑穀を添加したパンの力学的性質 ●地場野菜を利用したレシピの開発

地域連携・社会貢献活動

●日本官能評価学会副会長、常任理事、編集委員長

●日本家政学会関東支部副支部長 ●新座市商工会観光新座地域振興事業委員会委員など

【地域連携活動】
●新座市民祭り ●商工会との共同事業“すぐそこ新座”発見ウォーキング実施

●新座市4Hクラブとの連携事業 ●新座市社会福祉協議会との連携「会食ふれあい事業」

桐華祭で、学長賞をいただきました！

具体的な活動

●新座市民祭りに11年連続参加し、商工会との共同事業“すぐそこ新座”発見ウォーキングにおいてゼミ生が作成したスイーツを提供した。

●新座市社会福祉協議会との連携事業を7年連続で実施 「会食ふれあい事業 調理ボランティアさんの調理教室」をコーディネートした。

●JAあさか野、市役所、尾崎農園、丸越食品と連携し、新規ドレッシングの開発・販売を行った。

すだゆみこ
須田 有実子

人間生活学部 食物栄養学科 助手

専門分野 味覚



活動の概要

【担当科目】「食品加工学実習」「臨床栄養学実習」「応用栄養学実習」等の助手

地域連携・社会貢献活動

●新座市社会福祉協議会との連携事業「会食ふれあい事業 調理ボランティアさんの調理教室」の助手

曾矢 麻理子

人間生活学部 食物栄養学科 助手

専門分野 食品科学



活動の概要

- 【研究内容】●鳥卵タンパク質からの有用機能開発の研究
 - おからの有効利用研究
 - 地場野菜の有効利用研究

地域連携・社会貢献活動

- 地域との連携活動を通じ、地場野菜の加工食品開発に取り組む。

具体的な活動

- 新座市産の野菜を活用した加工食品(にんじんドレッシング)を研究開発し新座市の特産品として商品化することを目指している。

徳野 裕子

人間生活学部 健康栄養学科 准教授

専門分野 人と食と環境に関わる健康分野



活動の概要

- 【担当科目】「公衆栄養学概論」「健康食育論」「女性と健康」「食と発達」「食と環境」他
- 【研究内容】●食と環境の結びつきに関する研究
 - 体重や身長、体脂肪率を中心とした身体計測からの栄養評価
 - 健康に貢献できる食品(主に、野菜について)
 - スポーツ選手のコンディショニング管理のための栄養教育
 - スポーツを行っている子ども達への健康栄養指導
 - 食事コーディネータ活動

地域連携・社会貢献活動

- 「新座市女性職員プロジェクト」に関わり、ライフバランスの中での仕事と生活について新座市の方々と考えている。
- 新座市男女共同参画審議委員会も務めており、新座市の住みよい環境づくりに協力できればと思っている。

具体的な活動

- 人と食と環境を結ぶ活動を、様々な対象者(幼児、保護者、学生、高齢者、スポーツ選手など)に対して、栄養教育的活動を行ったり、農産物を中心とした栄養価を測定しつつ、その体と環境への影響について研究を行っている。特に、ヤーコンについて着目し、その商品開発にも積極的に行っている。日本体育協会・日本栄養士会指定の公認スポーツ栄養士としても、活発な活動を行っていきたいと思っている。



講義風景

高橋 正人

人間生活学部 健康栄養学科 教授

専門分野 内科学、内分泌代謝学、スポーツ医学



活動の概要

- 【担当科目】大学院：「食・健康と栄養の科学」「健康科学演習」「健康科学概論」
学部：「解剖生理学」「解剖生理学実験」「健康管理概論」「運動プログラム演習」「病態生理学」

- 【研究内容】●内分泌代謝学のアンドロロジー(男性学)に興味があり、それとスポーツ医学を融合した分野の研究している。具体的には、運動・スポーツと薬物・サプリメントの乱用の問題を取り扱っている。現在は日本における薬物乱用状況の調査を行っている。

地域連携・社会貢献活動

- 健康栄養学科としては地域に貢献するために「十文字学園女子大学シニア健康教室」を行っている。
それに対するスポーツ医学的貢献を行っている。

具体的な活動

- スポーツ医学的な貢献として「十文字学園女子大学シニア健康教室」への参画を継続。この事業は大学としても地域に訴える手段として有効なツールであると考える。
- 埼玉西武ライオンズと連携を本学が結ぶことになったが、清原元選手の問題のごとく、スポーツ選手の薬物使用問題やその他スポーツ医学の問題に対するセカンドオピニオンの役割(チームドクターは別途いるので)を果たしたいと考えている。

田中 茂

大学院人間生活学研究科／人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 働く人の安全と健康を守るために研究(労働衛生学)、安全衛生保護具の研究



活動の概要

- 【担当科目】「インダストリアルハイジーン論I・II」「公衆衛生学」「健康情報処理演習」

- 【研究内容】●給食調理、食品製造施設等で働く人には、洗剤等による皮膚障害、やけど、切傷、腰痛、CO中毒、熱中症が発生しているものの、多くの管理栄養士養成校では働く人の研究をしていない。本校では管理栄養士の資格取得とともに、働く人の安全と健康を守るために、第一種衛生管理者の資格取得を目指して勉強している。

地域連携・社会貢献活動

- 地域連携として埼玉県労働局から地域の安全衛生の教育
- 埼玉県医師会(都医師会を含む)および埼玉県産業保健総合支援センターの委員
- 埼玉医科大学(毛呂山)や防衛医科大学(所沢)等が主催する産業医
- 衛生管理者、化学物質管理者等を対象にした講習会の講師

具体的な活動

- 安全衛生保護具関係書籍の執筆『知っておきたい保護具のはなし(第3版を出版)』『化学物質の作業主任者テキスト(有機溶剤、鉛、特定化学物質、酸欠)』『皮膚からの吸収・ばく露を防ぐ! オルトートルイジンばく露による膀胱がん発生から学ぶ!』等
- 厚生労働省: 発がん性など有害性の高い化学物質をどのように安全に使用するかを決める委員
- 農林水産省: 農業従事者が農薬散布のときのマスクを正しく装着する必要があるラベルに記載する内容を決める委員

長尾 昭彦

人間生活学部 健康栄養学科 教授

専門分野 食品生化学



活動の概要

- 【担当科目】「食品衛生学」「食品衛生学実験」「生化学」「生化学実験」他

- 【研究内容】●食品に含まれる機能性成分の評価と構造解析
 - 食品に含まれる栄養・機能性成分の生化学的特性と体内動態(吸収と代謝)

具体的な活動

- 地域農産物の栄養・機能性成分の分析



すみだ食育イベント2016ポスター展示

田中 茂

大学院人間生活学研究科／人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 働く人の安全と健康を守るために研究(労働衛生学)、安全衛生保護具の研究



活動の概要

- 【担当科目】「インダストリアルハイジーン論I・II」「公衆衛生学」「健康情報処理演習」

- 【研究内容】●給食調理、食品製造施設等で働く人には、洗剤等による皮膚障害、やけど、切傷、腰痛、CO中毒、熱中症が発生しているものの、多くの管理栄養士養成校では働く人の研究をしていない。本校では管理栄養士の資格取得とともに、働く人の安全と健康を守るために、第一種衛生管理者の資格取得を目指して勉強している。

地域連携・社会貢献活動

- 地域連携として埼玉県労働局から地域の安全衛生の教育
- 埼玉県医師会(都医師会を含む)および埼玉県産業保健総合支援センターの委員
- 埼玉医科大学(毛呂山)や防衛医科大学(所沢)等が主催する産業医
- 衛生管理者、化学物質管理者等を対象にした講習会の講師

具体的な活動

- 安全衛生保護具関係書籍の執筆『知っておきたい保護具のはなし(第3版を出版)』『化学物質の作業主任者テキスト(有機溶剤、鉛、特定化学物質、酸欠)』『皮膚からの吸収・ばく露を防ぐ! オルトートルイジンばく露による膀胱がん発生から学ぶ!』等
- 厚生労働省: 発がん性など有害性の高い化学物質をどのように安全に使用するかを決める委員
- 農林水産省: 農業従事者が農薬散布のときのマスクを正しく装着する必要があるラベルに記載する内容を決める委員

長澤 伸江

大学院人間生活学研究科／人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 公衆栄養(各ライフステージの方の健康と食生活、食育、健康増進、疾病予防)



活動の概要

- 【専門領域】●公衆栄養(高齢者の健康と食生活、若年女性の健康と食生活、食育)

- 【担当科目】「公衆栄養学」「公衆栄養学実習」

- 【研究内容】●地域在住高齢者の健康関連QOLに及ぼす食生活の影響

- 超高齢社会における生活機能低下予防に関する研究

- 若年女性の健康と食生活習慣との関連

地域連携・社会貢献活動

- 【地域行政への協力】新座市健康づくり協議会副会長、新座市食育ネットワーク委員会委員、新座市体育協会理事、東京都墨田区すみだ食育推進会議委員長、第10回食育推進全国大会inすみだ2015 大会実行委員長、墨田区新たな食育推進計画策定委員(29年度～33年度)。

- 【地域への研究成果還元】講演活動:企業社員▶「メタボリックシンドロームの改善のための食生活」、高齢者▶「生活習慣病にならないために~健康は栄養バランスのとれた食事から~」▶「冷えにいい身体を作ろう! 食事で免疫力UP」、子育て世代▶「食の安全講座~バランスの良い食事を通してできる放射能対策~」、教育委員会▶「学校における食育の推進と食育リーダーの役割」▶「食育基本法と食をめぐる現状と課題」一般住民▶首都防災ウイーク講演会「食育推進ネットワークを活用した災害時の食支援」。【地域との連携】埼玉県「女性の健康週間」講演会開催、大塚製薬タイアップ企画、東京都豆腐商工組合豆腐フェア参加、第10回食育推進全国大会inすみだ2015開催、すみだ食育イベント展示参加、すこやか食育エコワーク企画と食調理教室開催

- 【COC事業】新座市健康まつり骨密度測定担当、食育啓発ポスター作製・クリアファイルデザイン担当、親子deウォーキング参加賞作製、新座市食育講演会和食調理教室コーディネート。HP用新座野菜レシピ提供

具体的な活動

- 【COC事業】●「食育で育む管理栄養士の専門性」プロジェクトでは、食物栄養学科の学生が食育啓発ポスターを作製し、保健センター・市役所に掲示。また、新座市民健康まつりに20名がボランティア参加。骨密度測定コーナーを担当した。小中学生への食育啓発として、朝ごはんをしっかり食べることを推奨するクリアファイルをデザインした。



すみだ食育イベント2016ポスター展示

なかむら さだこ 中村 祐子

大学院人間生活学研究科／人間生活学部 食物栄養学科 准教授
専門分野 保健栄養学、プレバイオティクス、難消化性糖質の生理作用と代謝



活動の概要

【担当科目】「臨地実習とその事前事後指導」「食物栄養学概論」「栄養化学」「食品機能論」「卒業研究」他
【研究内容】● 食物繊維や難消化性オリゴ糖などの難消化性糖質は、腸内細菌を介して代謝される。この過程で產生する腸内細菌由来代謝産物を介した生理作用と疾病との関連性を明らかにする。また、新規に開発された難消化性糖質の安全性ならびに生体における消化・吸収、発酵・吸収および代謝のメカニズムを明らかにする。

地域連携・社会貢献活動

- 日本食物繊維学会 常務理事、編集委員
- 日本栄養・食糧学会 参与
- 日本栄養改善学会 評議員
- 牛乳乳製品健康科学会議 委員 等

具体的な活動

【社会活動】

- 講演テーマ「腸内細菌と健康とのかかわり」「プレバイオティクス、プロバイオティクスと健康とのかかわり」「炭水化物の摂取と健康とのかかわり」など

【産学連携共同研究】

- 糖質の生理作用ならびに生体利用性に関する共同研究

はやし あやこ 林 綾子

人間生活学部 健康栄養学科 助手
専門分野 調理科学、給食経営管理



活動の概要

【担当科目】健康栄養学科開講「基礎調理学実習I・II」「解剖生理学実験」「食品学実験」「食事計画論・食事計画論演習」「応用栄養学実習」「栄養指導論実習I・II」「給食運営実習」「臨床栄養学実習」等の実験実習の授業の助手

【研究内容】● 次世代に伝えたい地域の料理に関する研究
● 調理学実習および給食経営管理論実習における学生教育向上に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 米粉を使った食品の開発：「にっぽん秋の大収穫祭 新宿ビアスタジオ」イベントにてメニューの提供を協力(2013年8月)
- 埼玉県米消費拡大推進連絡協議会主催「県産米を活用したオリジナルレシピ2014」にて学生指導、レシピ開発をし、優秀賞を受賞。(2015年2月)
- 一般財団法人日本こんにゃく協会「こんにゃくを使った新感覚レシピ」制作協力(都道府県の郷土料理：青森・福井・神奈川・京都)(2015年8月)
- 埼玉県米消費拡大推進連絡協議会主催「県産米を活用したオリジナルレシピ2015」にて埼玉のお米を使った“お弁当レシピ”の学生指導、レシピ開発をし、2年連続で優秀賞を受賞(2016年2月)

なぐら ひでこ 名倉 秀子

大学院人間生活学研究科／人間生活学部 食物栄養学科 教授
専門分野 調理科学、給食の品質管理、郷土料理の伝承、日本の食文化



活動の概要

【担当科目】大学院：「調理科学特論」 学部：「給食経営管理論」「給食経営管理論実習」
【研究内容】● 生産システムに真空調理を導入した時の給食の品質管理について
● 給食の生産管理における大量を起因とする調理科学的变化の検討 ● 給食の品質評価(栄養量、嗜好性、安全性)に関する研究
● 給食施設における利用者の食塩低減のための研究 ● 埼玉県下の郷土料理の伝承のためのレシピ化
● 栃木県の郷土料理とそのいわれ

地域連携・社会貢献活動

- 社会貢献活動】● 厚生労働省管理栄養士国家試験委員 ● 日本スポーツ科学センター栄養指導食堂等の運営業務に関する委員
● 日本給食経営管理学会理事(学会誌編集委員長) ● 埼玉県栄養士会研究教育事業部運営委員 他
- 【地域連携活動】●埼玉県学校給食会への協力 ●市立の学校給食に関する協力 ●高齢者福祉施設の給食への協力 ●埼玉県下の郷土料理の伝承 その他

具体的な活動

- 埼玉県学校給食会を通して、調理講習会(埼玉県教育委員会主催)の実施 ●志木市食育環境プロジェクトとして、学校給食の品質管理について研究・報告
●埼玉県の郷土菓子「塩あんびん」の調査研究の報告と、レシピ化の実施 ●埼玉県秩父市のくらしと共に伝承したい料理のレシピ化および家庭料理の研究
●NPO法人「暮らしネット・えん えん食卓」食事サービス向上への取組み、および献立等の調査研究
●食物アレルギーに関する調査研究 その他

のだ しおり 野田 詩織

人間生活学部 健康栄養学科 有期助手
専門分野 調理学、栄養学



活動の概要

【担当科目】「調理学実習」等の授業の助手

地域連携・社会貢献活動

- 一般財団法人日本こんにゃく協会：こんにゃくを使った新感覚レシピ作成の協力(都道府県の郷土料理：青森・福井・神奈川・京都)(2015年8月)
- 一般財団法人日本こんにゃく協会：“こんにゃく”カラダすっきり&おいしいレシピ作成の協力(2016年8月)
- 地域連携共同研究所・COC事業：東京会館和食総料理長、鈴木直登氏による新座市食育講演会 助手(2016年9月)
- 埼玉県米消費拡大推進連絡協議会主催【埼玉県産米を活用したオリジナルレシピ2016】の学生指導・レシピの開発に携わり、優秀賞を受賞(2017年2月)

やまざき ゆうこ 山崎 優子

人間生活学部 食物栄養学科 講師
専門分野 栄養学



活動の概要

【担当科目】「基礎栄養学」「基礎栄養学実験」「人間生物化学実験」他

【研究内容】「健康食品の安全性・有効性に関する研究」

- Cytochrome P450遺伝子発現を指標とする動物試験によるハーブサプリメントの安全性試験評価法の提案
●カバの主要成分カバラクトン(デスマトキシヤンゴニン)の肝毒性に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 食物繊維学会評議員

具体的な活動

- 健康食品を安全・安心に利用するための一助として、ハーブサプリメントの安全性試験の評価法の確立を目指している。

やまもと しげる
山本 茂

大学院人間生活学研究科／人間生活学部 食物栄養学科 教授
専門分野 国際栄養学



活動の概要

- 【担当科目】大学院：「国際栄養学」他
学部：「人間栄養学概論」「食文化論」「栄養学英語」
- 【研究内容】● 東南アジアの生活習慣病の食事による予防・治療
● 日本・東南アジアの学校給食に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- ベトナム、インドネシアの食事改善による生活習慣病の予防に関する研究
- 東南アジアの学校給食改善に関する研究 ● 東南アジアの糖類成分表の作成と糖類摂取量の研究
- ベトナム栄養摂取基準作成アドバイザー ● タイ栄養士会名誉会員 ● ベトナム栄養学会名誉会員
- ハノイ医科大学名誉教授 ● 日本学校給食研究協議会理事 ● 大豆たん白質研究会理事

具体的な活動

- ハノイ医科大学に4年前に同国初の栄養学課程を立ち上げ、日本の栄養学を全面的に輸出。また同大学からの学生、教員などを招聘し、栄養学教育について指導。
- 日本、台湾、東南アジア諸国の糖類成分表を作成し、各国の子供の糖類摂取量を測定。
- 東南アジアにおける野菜摂取量の増加方法の検討およびそれによる生活習慣病予防・治療方法を検討。
- ベトナムにおいて発芽玄米を製造し糖尿病の予防を国家プロジェクトになるべく取り組んでいる。

わだ やすよ
和田 安代

人間生活学部 食物栄養学科 講師

専門分野 臨床栄養学



活動の概要

- 【担当科目】「臨床栄養学I-II」「臨床栄養学実習I」「臨床栄養臨地実習I-II」「総合演習」「食物栄養学演習」「卒業研究」
- 【研究内容】● 消化器疾患および代謝疾患における栄養管理と病態解明 ● 炎症性腸疾患における病態解明と新規治療法の解明
- 子宮体がん患者における化学療法完遂に影響を与える因子の検討 ● ALアミロイドーシス患者におけるepigallocatechin gallateの有効性と治療効果の検討
- ALアミロイドーシス患者における食生活に関する検討 ● 小児1型糖尿病患者における食生活の現状と栄養教育に関する検討
- アレルギー患者を対象とした治療食の開発と栄養管理の検討 ● 炎症性腸疾患患者を対象とした治療食の開発
- 糖尿病患者を対象とした治療食の開発 ● 予防医療および予防介護を目的とした料理教室の実態調査と実施効果に関する検討
- 【学内業務】● 十文字学園女子大学管理栄養士国家試験対策委員会委員長

地域連携・社会貢献活動

- 東京都栄養士会 医療事業部企画運営委員 ● 複数の地域病院との共同研究を実施 ● 小児1型糖尿病サマーキャンプに管理栄養士スタッフとして2004年より継続参加
- 地域住民を対象とした予防医療と予防介護を目的とした料理教室の運営 ● COC事業参画(地域志向教育研究の主研究員及びプロジェクト構成員)

具体的な活動

- 第20回日本病態栄養学会年次学術集会における糖尿病患者のためのレシピコンテストにて優秀賞を受賞した。「彩りばっちり！ 新座のお弁当レシピ」と題し、埼玉県新座市の特産品を取り入れてことが特徴である。● 地域の病院と共同研究を行い、研究成果を論文や学会で多数発表している。
- The International Union of Nutrition Science workshop on Capacity and Leadership Development in Nutrition Scienceにfellowとして参画した。

5

経済学・経営学



あべふみ
阿部 史

人間生活学部 生活情報学科 准教授
専門分野 民法、金融法、担保物権法、消費者法



活動の概要

【担当科目】「生活と民法(民法入門)」「消費生活と法律」「ビジネスと法律」「不動産と相続」「家庭と法」
【研究内容】●担保・保証を中心とした民法の金融法が主な研究テーマ
消費者法的な観点、英米法からの比較、法の交錯分野などに興味をもつ

地域連携・社会貢献活動

- 毎年日本人学生達を米国大学へ送り出す米国イリノイ大学小山八郎記念奨学生派遣事業に携わっている。

具体的な活動

- 大学のゼミ活動では、学内での座学のみならず、さいたま地方裁判所や東京地方裁判所等で裁判傍聴を行うことにより、社会の現場から学ぶ機会を設けている。

ふじもとまさのり
藤本 正徳

人間生活学部 生活情報学科 教授
専門分野 経営学



【担当科目】「企業概論」「企業経営入門」「企業戦略論」「起業論」「企業倫理」

【研究内容】●自身の多様な民間企業経営者としての実務経験に基づき、変化の激しい社会において、新しい価値創造に挑戦する起業家や中堅企業の事例研究を通じて、社会が求めるビジネスモデルの仕組みと今後の経営課題を分析する。

地域連携・社会貢献活動

- 産業や企業の調査研究をゼミ活動のテーマとし、産業研究や企業を訪問を通じて企業のニーズの理解と学生の視点からの意見交換を行っている。

具体的な活動

- ゼミ活動では、隔月ごとにテーマを決めて多様な工場・産業施設や企業を訪問し、調査研究するフィールドトリップ活動を行っている。今後は更に、自身の国内外での民間企業経営に携わった経験をも生かし、地元企業やビジネスの経営面でのアドバイスが出来る事ががあれば積極的に協力していきたい。

かとうよしひろ
加藤 順弘

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 簿記論、財務会計論、租税法、国際税務戦略論



活動の概要

【担当科目】「簿記入門」「会計学入門」「簿記基礎」「簿記基礎演習」「簿記応用」「財務会計論」「BATIC」「暮らしの税金」
【研究内容】●グループ企業再編と連結納税に関する研究
●小規模宅地等課税価格の計算特例に関する研究
●組織再編税制における包括的否認規定の範囲に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 相続税に関する公開基礎講座
- 学生対象の日商簿記検定試験受験応援
- 東京税理士会における一般納税者税務相談応援

具体的な活動

- ゼミ活動では通常の演習の他、就職のための日商簿記検定試験、税理士試験等の資格取得応援や上級生・先輩による就活対策講座も行う。
- 卒業研究のためのフィールドトリップ等

まつもとあきこ
松本 晃子

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 マーケティング、生活経済、商品開発



活動の概要

【担当科目】「マーケティング」「生活経済論」「ブランド論」「ファッショングビジネス」
【研究内容】●消費者が意識する豊かさの変化についての心理的側面から検証・分析
●繊維産業の構造と品質管理。繊維産業に勤務した経験から、ファッショングビジネスの商品開発における問題を、マーケティングと品質管理の両面からアプローチしている。
【専門領域】●生活経済 ●消費者行動 ●マーケティング

地域連携・社会貢献活動

- 平成20年度 関東経済産業局受託事業「地域連携資源活用調査・研究事業調査」
- 山梨県立大学地域交流センター 地域資源を活かしたビジネス展開プロジェクト

こみえまさひこ
込江 雅彦

人間生活学部 生活情報学科 准教授

専門分野 金融規制、バブル崩壊後の経済政策



活動の概要

【担当科目】「生活と産業」…日本経済が抱える問題を現代史を振り返りながら、講義している。その中で、新座市で活動している方々に授業で講義していただいている。
「インターネットビジネス」…ネットが色々な形でビジネスに係っている現状を講義し、今後の行方を学生に考えさせてている。

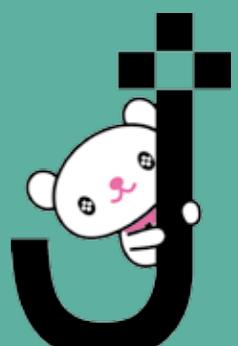
【研究内容】●バブル崩壊後の経済政策を日本、アメリカ、EUと比較しながら、金融規制の在り方や金融政策について研究している。

地域連携・社会貢献活動

- 「生活と産業」という授業の中で、新座市商工会の事務局長を招いて授業を行うなど、地域と経済との関係について授業で取り上げている。また、山梨県職員研修所での講義を行い、地域で活動する職員の教育にも参加した。

具体的な活動

- 今後、授業では様々な活動をしている方々を招きながら、日本経済が抱えている問題を地域から研究、教育を勧めいくことを考えている。



社会学

6

おおとも ゆきこ
大友 由紀子

人間生活学部 生活情報学科 教授
専門分野 家族社会学、農村社会学



活動の概要

【担当科目】「ライフコースと生活設計」「ライフスタイル論」「生活と情報」「調査と統計」「マーケティングリサーチ」
 【研究内容】● 2012-2015年度科学研究費助成事業(基盤研究(B)) 研究課題名「女性のキャリア形成からみる農場経営参画を可能にする要因の解明」の研究代表として、南部ドイツ語圏(オーストリア、スイス、バイエルン、南チロル)の女性農業者を対象にロングインタビューを実施。日本の女性農業者のキャリア形成と比較研究している。

地域連携・社会貢献活動

- 高崎市史編さん事業(1989-2005年)
- 厚生省人口問題研究所第3回世帯動態調査(1994-1997年)
- 世田谷区教育史編さん事業(1989-1996年)などの行政調査に参加
- 十文字学園女子大学国際シンポジウム「食と農を担う女性たち」(2014年7月)
- 同国際ワークショップ「食と農を担う女性たち」(2016年2月)を主宰
- 山梨県甲州市にて「ぶどうとワインのふるさと・果樹農家の持続と発展、夢を語る会」(2017年1月)を共催

具体的な活動

- 生活情報学科ビジネスコースの「演習」と「卒業研究」では、日本人のライフスタイルの変化、特に消費生活の変化をテーマにゼミ指導している。4年生の卒業研究のテーマも、POP広告による販売促進活動、日本型コンビニにみる家族経営の課題、食品宅配サービスの市場規模拡大にむけた課題、味噌の地域性とその保存活動など。日商リテールマーケティング検定の資格取得を奨励し、対策講座を担当。

かわぐち ひでとし
川口 英俊

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 准教授

専門分野 政治学、日本政治論、比較政治論



活動の概要

【担当科目】「生活と政治行政／ネットと世論」「インターネット社会論」「くらしのなかの日本国憲法」「クリエイティブライティングII」「入門ゼミナール」「情報処理演習I・II」

- 【研究内容】● ヨーロッパにおける国民投票
 ● インターネットと公職選挙法
 ● 18歳選挙権

地域連携・社会貢献活動

- 十文字学園女子大学・18歳選挙権ワーキンググループ取りまとめとして会合・研究会により学長への報告書をまとめる。
- 2016年、大学に総合科目18歳選挙権研究を新設し、埼玉県・新座市の選挙管理委員会、文部科学省からの大学への18歳選挙権取り組み要請に応える形で授業内において埼玉県選挙管理委員会の方をお招きし、出前講座を実施した。

たぶさ けいこ
田總 恵子

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 教授

専門分野 政治学、国際関係論、政治とメディア



活動の概要

【担当科目】「政治とメディア」「異文化コミュニケーション」「地球環境の保全と生活」「国際関係論」
 【研究内容】● 民主主義制度の特徴と問題点

- 民主主義におけるメディアの役割など

具体的な活動

- 政治経済思想分野の文献の翻訳訳書
 「ハイエク政治学論集」『フリードリヒ・ハイエク』『自由と市場の経済学』『賢い組織は「みんな」で決める』



活動の概要

【担当科目】「現代社会と福祉」「社会調査の基礎」「社会学理論と社会システム」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉実習および実習指導」「総合科目」

【研究内容】● 農村女性の起業がテーマです。社会福祉の専門職をめざす学生には、女性や弱者の立場から社会をみる問題意識と想像力を持ってもらいたいと願い、そのために役立つ学びは何かを考えながら、研究と教育をつなぎたいと思っています。

地域連携・社会貢献活動

- 担当科目のなかで新座市のアトム通貨や有償ボランティア制度の背景を講義したり、自治体職員のキャリアアップやワークライフバランスについて考えるプロジェクトに参加しています。
- 自治体の男女共同参画、介護保険等計画、防災計画などの委員会や、農業委員としても活動しました。

具体的な活動

- 女性の活躍は、雇用分野ばかりではありません。経営参画や起業する女性たち、ボランティアやNPO活動をマネジメントする女性たち、コミュニティパワーを創り出す女性たち、多彩な女性たちのフィールド(とくに食や農に関する現場)を訪問し、若い女性たちにつなげる活動をしたいと思っています。

7

メディア・情報・自然科学



いしのえい一 石野 榮一

学科長／人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 教授
専門分野 新聞、地域メディア、NIE(教育に新聞を)



活動の概要

【担当科目】「情報倫理と法」「地域メディア論」「新聞・雑誌・ミニコミ編集」「広報論」「インタビュー手法」「メディア産業論」「新聞ジャーナリズム論」

【研究内容】●新聞全般 ●地域におけるメディアの役割、将来像
●情報リテラシーの養成 NIE の実践と研究・普及

地域連携・社会貢献活動

- 地域学習テキスト『いいね！にいざ』の制作委員会委員として、本学学生とともに地域を取材し、同テキストの執筆編集発行に当たる
- 新座市情報公開・個人情報審議会委員
- 新座市立陣屋小学校学校評議委員
- さいたま市南区・桜区での選挙セミナー講師など

具体的な活動

- 授業やゼミで新聞を積極的に活用しメディアリテラシーの養成を進めたほか、地域メディアの役割を学ぶため学生を積極的に地域とかかわらせた
- 18歳選挙権施行を受け、学生向けの授業を担当したほか、小学生対象の模擬投票の実施、自治体での選挙セミナー講師を務めた

かとうりょうすけ 加藤 亮介

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 講師
専門分野 教育工学、教育方法学



活動の概要

【研究内容】●CG、ウェブ、映像等のメディア・コンテンツ制作系の授業を担当し、研究フィールドとして映像制作発信を通じたプロジェクト・ベース学習(PBL)についての研究を行っている。

地域連携・社会貢献活動

- 平成24年 関東地区高校放送コンクール(埼玉大会)審査員
- 平成27-28年 埼玉県「彩の国はたらく情報館」企業映像制作



番組制作ゼミの様子

いずみなおこ 泉 直子

人間生活学部 生活情報学科 教授
専門分野 ソフトウェア工学、データベース、検証



活動の概要

【担当科目】「データベース入門・基礎」「ビジネスデータ活用基礎・応用」

【研究内容】●情報機器の使用実態と生活への影響についての研究
●デジタル時代の若者のコミュニティ作りについて

地域連携・社会貢献活動

- 2005-2014 東京工業大学 特別研究員
- 2012-2014 埼玉県主催のふるさと支援隊において高齢者から昔話を聞き取り、それを基に絵本を作成し限界集落の高齢者の活性化の手伝いをしている。
- 2015 学生と共に地元、大和田地区の歴史、特に農業の歴史とコミュニティ作りの話など聞く機会があり、この地区は昔からの文化を形を変えて残すことができていること、若者のコミュニティ作りがうまくいっている話を聞き交流を図った。

具体的な活動

- 今後行いたいことは二つ。一つは若者のコミュニティ作りについて、特にデジタル社会の若者コミュニティについて学生とともに考えていきたい。もう一つは新座地区の昔話に興味がある。

おのゆうじろう 小野 裕次郎

副学長／人間生活学部 生活情報学科 教授
専門分野 データの分析、データから法則性や規則性等の知識を取り出す。



活動の概要

【担当科目】「プログラミング基礎」「プログラミング応用」「オブジェクト指向プログラミング」「システムプログラミング基礎」「システムプログラミング応用」

【研究内容】●数値データや数値で表せない質的データ等を合わせて解析し、知識を抽出します。

地域連携・社会貢献活動

- 高校に行き、高校生が興味を持てる内容で情報教育の授業を行っている。

講義内容

- 「結婚報道新聞を作ってみよう」：ワードの機能を使い画像、文章、イラスト等を組み合わせスポーツ新聞風の結婚報道新聞を作成します。
- 「Scratchを使ったゲーム作成」：Scratchを使ったゲーム作成を通してプログラムとはどの様なものなのかを理解する。ScratchはアメリカのMITメディアアラボが開発したプログラミング環境で、命令ブロックの配置によりプログラムを作成することができる。このゲーム作成により、プログラミングを体験する。

かわせもとひろ 川瀬 基寛

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 准教授
専門分野 メディア教育、メディア・リテラシー、ICT活用、情報教育、グラフィックデザイン



活動の概要

【担当科目】「メディアデザイン」「グラフィックデザイン」「情報デザイン論」「映像表現論」「色彩論」他

【研究内容】●ソーシャルメディア時代におけるメディアリテラシー教育と教材開発
●児童の安全教育とメディア教材の活用
●HMD(ヘッドマウントディスプレイ)を利用したVR(バーチャルリアリティ)学習空間
●一般大学におけるデザイン教育に対する授業デザイン ●グラフィックデザイン全般

地域連携・社会貢献活動

- [デザイン活動]主にデザイン職希望のゼミ生と一緒にデザイン活動を行っています。大学内や地域から様々なデザイン依頼を受け、積極的に活動しています。
- 講師：教員免許状講習会講師(ICT活用、メディア・リテラシー、情報モラル) ●保護者向け教養セミナー講師 ●高校生のための校内放送研修会講師 等

具体的な活動

- 埼玉県男女共同参画課「デートDV防止啓発」広報物企画(ポスター・デザイン)
- 新座市人権推進課「成人式配布用デートDV啓発チラシ」(デザイン) ●大江戸新座祭り(配布用缶バッジ・デザイン)
- 志木市商工会イベント(ポスター・デザイン・企画立案)
- 十文字女子サッカー大会(ポスター・デザイン・パンフレット・デザイン)、他にも地域のデザインリソースとなるよう、地域連携におけるデザイン支援を実施しています。

きたはらしゅんいち 北原 俊一

情報センター／人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 教授
専門分野 コンピュータ、物理学、計算機実験



活動の概要

【担当科目】「情報処理演習I・II」「宇宙とのなりたち」「Webデザイン基礎」

【研究内容】●運動の計算機シミュレーション ●宇宙初期の物質のようす

地域連携・社会貢献活動

- 新座市自治憲章条例検討委員

具体的な活動

- コンピュータ・ネットワークのいっそうの利活用を進めたい。

くりはら たかし
栗原 隆史

人間生活学部 生活情報学科 教授
専門分野 地理情報システム(GIS)、地域分析、情報処理教育



活動の概要

【担当科目】「ハードウェア基礎」「パソコン活用」「コンピュータグラフィックス」「3DCG」「IT活用」「サーバーサイドプログラミング」「システム開発技法」「アニメーション制作」「プログラミング初級」
【研究内容】● GISを活用した教育機関通学勢力圏モデルに関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 新座市 女性のためのPC講座について(Word) 2012年
- 新座市 女性のためのPC講座について(Excel) 2013年

すずき ひろたか
鈴木 弘貴

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 教授
専門分野 グローバルジャーナリズム



活動の概要

【担当科目】「国際マスコミュニケーション論」「グローバルジャーナリズム」他
【研究内容】● 国境を越え、トランクショナルに受容可能なニュース

地域連携・社会貢献活動

- 東京都広告物審議会委員

具体的な活動

- 「東アジア共同体一共通のニュース局作成」朝日新聞、2006年1月21日朝刊14面「私の視点」「『無国籍』報道の可能性」毎日新聞、2010年11月1日朝刊23面「時流底流」

さいとう れいこ
齋藤 麗子

健康管理センター センター長／教授
専門分野 健康管理、小児保健、喫煙対策、健康教育



活動の概要

【担当科目】●「女性と健康」大人の女性になるためには知っておいてほしい健康情報をオムニバス形式で、医師の立場から授業に取り組んでいる。喫煙や飲酒による本人や次世代への影響、おしゃれによる健康被害、食中毒の予防、食べるということを考え、栄養素について知り、女性ホルモンによる体のリズム、妊娠や避妊について正しく知ることなど、楽しく学習する。
●健康管理センターの健康教育として乳がん自己触診講習会を随時開催し、乳房モデルを使い実技の実践を指導。

地域連携・社会貢献活動

- 各地の教育委員会、母子保健課、地区医師会、女性団体などの依頼にて受動喫煙の健康影響や子どもの喫煙防止、スマーケフリー社会の形成などの講演活動を続けている。



小児科合同委員会作成の児童公園禁煙ポスターを全国に広めている

たくら あきら
田倉 昭

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 ネットワーク、インターネット、セキュリティ



活動の概要

【担当科目】「インターネット」「データ処理入門」「ネットワーク基礎」「ネットワーク設定」「Webページとスクリプト」「インターネットとセキュリティ」「サーバ設定」
【研究内容】● 通信プログラム開発に関して研究を行っている。
● ゼミでは、AndroidやiPhoneアプリなどスマートフォンアプリ開発も行っている。

地域連携・社会貢献活動

- 「ネットワークを調べてみよう」という題目で、高校での出前授業を行ったことがある。

しんぎょううち こうじ
新行内 康慈

学科長／人間生活学部 生活情報学科 教授
専門分野 経営工学、信頼性工学



活動の概要

【担当科目】「情報基礎」「ソフトウェア概論」「アルゴリズムとデータ構造」「問題解決手法」「文書作成入門」「データ処理入門」他
【研究内容】● ネットワークシステムの性能評価
● ソフトコンピューティング等を活用した最適設計

地域連携・社会貢献活動

- ISO/TC69(統計的方法の適用) / SC6(測定方法及び測定結果) 国内委員

具体的な活動

- 各種国際規格のベースとなる、データの取り扱いや統計処理に関するISO規格の原案作成や審議、JIS化の検討などを行う。

つのだ しんじ
角田 真二

情報センター 教授

専門分野 ユニバーサルデザイン



活動の概要

【担当科目】「ユニバーサルデザイン」「情報処理演習」
【研究内容】● ユニバーサルデザインの認知過程研究

地域連携・社会貢献活動

- 新座市民、高齢女性と共に、高齢女性のコンピュータボランティア養成講座を、15年以上継続開催している。
多い年には、2種類のクラスを各々月2回、合計月4回開催するなどしてきた。

具体的な活動

- 高齢女性のコンピュータボランティア養成講座
- 認知症予防ファシリテータ養成講座等実施

文化・文学

8

あかまえつこ
赤間 恵都子



学科長／人間生活学部 文芸文化学科 教授

専門分野 平安時代の文化と文学

活動の概要

- 【担当科目】「日本文学概論」「日本文学史A(古代)」「日本文学の名作」他
- 【研究内容】●「枕草子」を中心とする平安女流文学の研究
 - 平安文学に描かれる自然や文化の研究
 - 古典文学を漫画等の現代メディアを介して普及させる活動



公開講演会ポスター

地域連携・社会貢献活動

- 公開講座等の講師を担当
- コミックエッセイ、古典漫画の監修本を出版
- 放送大学埼玉学習センターにて面接授業を担当

具体的な活動

- 【公開講座等】『新座市民公開講座』(2014年12月)、『石川県高等学校教育研究会講演会』(2015年6月)、『放送大学一般公開講演会』(2017年3月)
- 【著書】『枕草子日記の章段の研究』(2009年三省堂)、『歴史読み枕草子—清少納言の挑戦状』(2013年三省堂)
- 【監修とコラム執筆】『本日もいとをかし!! 枕草子』(2014年4月 KADOKAWA)、『人生はあはれなり… 紫式部日記』(2015年3月 KADOKAWA)、『マンガで楽しむ古典 枕草子』(2015年8月 ナツメ社)

いしかわたかし
石川 敬史



人間生活学部 文芸文化学科 准教授

専門分野 図書館学、図書館文化史

活動の概要

- 【担当科目】「図書の文化」「図書館概論」「図書館サービス概論」「情報サービス演習」
- 【研究内容】●近現代の日本の公立図書館における館外活動を対象に、地域に生きる住民の視点で、全国各地の移動図書館(自動車文庫)の足音と読書運動の呼吸を読み解いている。また、公立図書館における情報リテラシー支援のあり方に関する研究や、図書館における協働や参画に関する研究も進めている。

地域連携・社会貢献活動

- 新座市図書館協議会委員 ●和光市図書館協議会委員
- (公社)日本図書館協会中堅職員ステップアップ研修(2)講師(情報リテラシー支援)
- 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 司書専門講座・社会教育主事専門講座講師
- 新座市民総合大学文学部子どもの読書応援学科コーディネーター(2015-2016)など 各地の公立図書館・大学図書館等の研修会講師



オリジナルブックトラック

おちあいまゆ
落合 真裕



人間生活学部 文芸文化学科 講師

専門分野 英文学(現代演劇)、英文学におけるユーモアと笑い

活動の概要

- 【担当科目】「文芸文化概論」「世界の演劇」「笑いの文化」「外国文化論A」「比較文化論」「海外文学の名作」他
- 【研究内容】●イギリス文学作品における笑いとユーモアについて
 - イギリス演劇における笑いとユーモアの仕掛け ●イギリス現代演劇とテレビドラマにおける笑いとユーモア

地域連携・社会貢献活動

- 日本笑い学会関東支部役員(運営委員)
- 日本バーナード・ショー協会役員(運営委員)
- 日本英語文化学会大会運営委員

具体的な活動

- 主に学会、研究会などを通じて、学生のみならず社会人に向けてもイギリス文学におけるユーモアやイギリス流のユーモアに関する研究発表、講演を行っている。
- 学生に舞台、演劇空間に実際に触れてもらうために学外で劇場見学、演劇関連資料館の見学、演劇鑑賞なども行っている。



劇場見学会(新国立劇場)

かとうあきこ 加藤 暁子

人間生活学部 文芸文化学科 准教授
専門分野 舞台芸術、宝塚研究、情報教育



活動の概要

【担当科目】「芸術文化ゼミ」「舞台芸術B」「生活と文化」「情報処理演習I・II」
【研究内容】●芸術と文化を研究課題。主なテーマは「宝塚研究」。

- 芸術鑑賞と公演比較など、様々な公演の評論。

地域連携・社会貢献活動

- 地域向け、舞台芸術を推進すべく公開講座を実施。
平成29年度 新座市東北コミセン イキイキ実年学級(高齢者講座)「宝塚歌劇の魅力を知る」担当



具体的な活動

- 【著作】青弓社『宝塚イズム』公演評連載(2007年～2017年)

少年写真新聞社『給食ニュース』パソコン講座連載(2014年～2016年)

- 学生に舞台芸術に触れる機会を作るため、歌舞伎や狂言、宝塚歌劇や劇団四季の観劇を推進し、引率を行っている。

- 学内において、学生が大学生としてより充実した学生生活を送れるよう、学生支援活動も行っている。

たけだひろお 武田 比呂男

人間生活学部 文芸文化学科 教授

専門分野 万葉集、古事記、日本靈異記、口承文芸、民俗事象



活動の概要

【担当科目】「文化を考える」「神話・伝承学」「日本の文化」「日本文学論」「日本文学研究」「日本文化研究」他
【研究内容】●日本の古代における思想と表現との関係について、日本靈異記などの宗教的言説のテクストの生成と儀礼との連関について考察すること

- 日本近代において民俗学という言説が生成するプロセスと日本の近代文学との連関、および近代文学における民俗的想像力の表現を分析すること
- 文学作品や伝承にあらわれた環境認識と表現について考察すること

地域連携・社会貢献活動

- 社会人向け講座で、日本文学、民俗学、神話・伝承学などを講じることで、研究成果を社会へ還元するとともに、社会人教育を支援している。

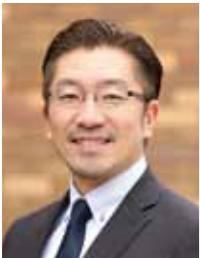
具体的な活動

- 社会人向け講座で、日本文学、民俗学、神話・伝承学などを講じている。

こばやしみのる 小林 実

人間生活学部 文芸文化学科 准教授

専門分野 日本近代文学、翻訳文学史



活動の概要

【担当科目】「文芸文化入門」「日本文学史C」「日本と異文化」「日本文学論B」「日本文学研究B」
日本近代文学(明治～昭和)に関する科目と、日本における異文化について考察する科目が中心。

- 【研究内容】●日本におけるロシア文学受容史。特にロシア文学の翻訳家と出版史を研究。

地域連携・社会貢献活動

- 平成28年度地域志向教育研究(地域連携創造・支援事業)において、「新座市における地域文化アーカイブズの創造」の研究代表を務めた。

具体的な活動

- 平成28年度地域志向教育研究(地域連携創造・支援事業)において、「新座市における地域文化アーカイブズの創造」の研究代表を務めた。
- 学科の授業「基礎演習」(1年生後期)を利用して、大学周辺地域の風景をもとにしたフォトエッセイ制作を学生に指導している。

たにしまみわの 谷嶋 美和乃

人間生活学部 文芸文化学科 助手

専門分野 日本美術史



活動の概要

- 【研究内容】●物語絵画

地域連携・社会貢献活動

- 新座市と市内にある大学との連携事業である「新座市内大学公開講座」にて講義を担当。

シーラクリフ Sheila Cliffe

語学教育セクター 教授

専門分野 着物、ファッショニ



活動の概要

【担当科目】「創作ワークショップD」「日常英会話入門」「文化と歴史」他

- 【研究内容】●着物の流行、ファッショニ性とその意味。

- 今後の着物のあり方について。 ●外国における着物文化の受容と広がり等

地域連携・社会貢献活動

- 着物に関する各種展覧会の運営(イギリス、ドバイなど)
- 日本、イギリス、韓国、ハワイでの着物文化に関する発表、講義を開催
- 【主な著書】『The Social Life of Kimono』(Bloomsbury 2017年) 『日本のことば英語で話そう』(中経出版 2012年)

- 【主なメディア出演】『エコの作法』(2013年2月 BS朝日) 『TOKYO FASHION EXPRESS』(2014年9月BS NHKワールド)
『TOKYO EYE』(2015年2月BS NHKワールド) 『毎日新聞』(2016年1月4日付)
『PRESIDENT』(2016年3月 14号)

ひぐちかずたか 樋口 一貴

人間生活学部 文芸文化学科 准教授

専門分野 日本美術史、江戸時代絵画史



活動の概要

【担当科目】「芸術と人間」「テーマで触れる芸術」「文学と女性」「女性と文化」「博物館概論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館実習I」
日本美術の流れと特質、および博物館における美術作品などの資料展示について

- 【研究内容】●円山応挙を中心とする江戸時代絵画史
●日本における美術コレクション、鑑賞史の研究

具体的な活動

- 美術史研究においては実際の作品を見ることが一番の勉強になると考え、授業で首都圏の美術館・博物館への見学をたびたび行っている。



東京国立博物館にて美術作品鑑賞



活動の概要

【担当科目】「音声表現」「芸術ことば」「くらしと日本語」「朗読・ナレーション」「放送概論」「女性と文化」他
 【研究内容】●アナウンサーとして番組制作に携わってきた経験を生かし、放送を中心に声の日本語について考察している。

地域連携・社会貢献活動

- NHK番組の他、官公庁や新聞社などの主催するシンポジウム、式典、青少年のためのコンサートなどの司会を務める。
- 子どものことばを育てる活動に参画



具体的な活動

●【著書】

- 『話しことばの花束』(リヨン社)
- 『ハッピーチャイルドに育てる19の知恵』(NHK出版)『教科書に載った名作～ことばを育てる』(朗読CD・日外アソーシエイツ)など
- 桐華祭講演会には、ゲストを招いて「小泉八雲と地域づくり・人づくり」という講演会を企画した。
- 学生と国立国語研究所などへ見学に行く、取り上げた作家のゆかりの地を訪ねる、平和祈念展示資料館で公開授業を行うなどの活動を行った。

9

言語学



いけまりよこ 池間 里代子

語学教育セクター 教授

専門分野 中国文学、日中文化交流、中国語教育



活動の概要

- 【担当科目】「中国語」「中国語検定対策」「留学生のゼミ」「総合科目」
 【研究内容】●『紅楼夢』の文体・日本への影響／日本イメージの水脈

地域連携・社会貢献活動

- 【COC事業】
 「新座歴史探訪II」の内容について講演活動
 総合科目「にいざ十文字発世界へ」においてグローバルを体現する授業を展開
 放送大学での講義



メディアコミュニケーション学科4年生の卒論テーマ発表会を終えて

具体的な活動

- 昭和の大茶人の一人である松永耳庵を取り上げ、新座時代の足跡を研究した。本学及び志木市にて講演を行った。
- 「にいざ十文字発世界へ」では学生に取材の方法を講義するとともに取材対象者の母国を研究、取材後にWEB上にアップした。

こうごともみ 向後 朋美

語学教育セクター 准教授

専門分野 言語学・英語学、ことばのしくみ、英語のしくみ、ことばへの気づき



活動の概要

- 【担当科目】「ことばのしくみ」「英語学」「ことばへの気づきワークショップ」「英語教科教育法I・II・III・IV」「教育実習」「卒業研究I・II」

- 【研究内容】●私たちは毎日のように新しい語をつくり、文を発したりしています。実はこの新しい語や文は、私たちの頭の中に備わっている「きまり」に知らず知らずのうちにしたがって生まれているものなのです。普段はまったく意識されないこの「きまり」とはどのようなものなのかを、実際の言語資料(人間が書いたもの、発話したもの)を集め、分析しています。

地域連携・社会貢献活動

- 「モチベーションを高める工夫の研究～外国語学習におけるモチベーション～」(2012年11月)
- 和光市教育委員会主催教育研究会一斉授業研究会(外国語部会) (於和光市立第三中学校) 講師
- 「名詞の後置修飾にまつわる小ネタ」(2015年1月)
- 志木市教育委員会外国語主任会授業研究会(於志木市宗岡第二中学校) 講師

おがさわらのりこ 小笠原 典子

語学教育セクター 教授

専門分野 外国人のための日本語教育



活動の概要

- 【担当科目】大 学:留学生のための「日本語」「日本語表現技術」「日本語能力試験対策講座」他
 留学生別科:「日本語関連の資格試験対策講座」他

- 【研究内容】●日本語教材研究
 ●面接による日本語力測定
 ●日本語学習の効果

地域連携・社会貢献活動

- 留学生ゼミ所属の学生を中心に、近隣の福祉センターを訪問し、手話付きの歌を披露し、入居者との交流を図る。
- 「総合科目」では、新座市及び近隣の外国人へのインタビュー、取材を通じ、互いの文化を知る端緒とした。

具体的な活動

- 「総合科目」において、留学生と日本人学生の交流を主眼とし、近隣の外国人へのインタビューを実施し、その結果をWEB、冊子にまとめた。今後も授業内ばかりではなく、留学生と日本人学生、また、本学学生と外部の外国人など、異文化を持つ人との交流を進めていきたい。

しだらゆうこ 設楽 優子

語学教育セクター 准教授

専門分野 英語と日本語の発音(その記憶と母語干渉)



活動の概要

- 【研究内容】●「英語音声学などの授業担当を通して、母語や外国語の発音を客観的にとらえて記憶することに关心を持っています。発音記号やリズム・イントネーションの記録をただお勉強するのではなく、耳と口を使って真に理解するのになければ、発音を指導することはできないでしょう。耳の良い幼児・児童にとどめても、世界中の英語話者にとどめても、通じ易く快い英語の発音を身につけ、教えることができるようになりますには、どうしたらよいかを考えています。

地域連携・社会貢献活動

- 全国英語教育学会の大会に参加して、小中高大的教員の発表をきいて感激し、会員になりました。また大会に参加するとともに、今度は、日々教えていることの背後にある問題点などを検証して発表したいです。



Brighton大学で教師3人で

きゅうしゃおゆん 仇 暁芸

語学教育セクター 講師

専門分野 第二言語としての中国語、第二言語としての日本語



活動の概要

- 【担当科目】「日中異文化理解(総合科目)」「プレゼンテーション」「中国語の外来語認識—特に音訳表記を中心に
 ●中国人留学生の日本語ディクテーション

地域連携・社会貢献活動

- 中国を紹介し、日中友好交流の活動を取り組んでいる。
 また、バレーボールを通して、スポーツの交流をしている。



学生と訪れた平林寺での集合写真

具体的な活動

- 授業で、通訳の実践体験をしてもらうため、同僚と共に学生を学外へ連れて行った。
- 学生と共に新座市国際交流協会主催のバスツアーに参加した。

ほしのゆうこ 星野 祐子

人間生活学部 文芸文化学科 准教授

専門分野 日本語、コミュニケーション、話しことは



活動の概要

- 【担当科目】「日本語表現」「日本語学入門」「日本語学A(日本語の歴史)」「日本語学研究A(日本語文法)他

- 【研究内容】●話し合い場面をデータにしたコミュニケーション研究
 ●論理的な文章の書き方

- 効果的な話し方・聞き方
 ●身近なメディアと日本語表現

- おいしい言語学(グルメ雑誌やお菓子のパッケージを資料に、キャッチコピーに用いられるオノマトペや外来語の使用について研究)

地域連携・社会貢献活動

- 大学マスコットキャラクター「プラスちゃん」を活用した地域活性化事業
- 子ども大学しき・子ども大学にいざ実行委員
 ●子ども大学講師
- 市職員向け教養講座講師
 ●高等学校における講演会講師
- 市職員研修運営補助など



具体的な活動

- プラスちゃんの活動をサポートする「プラスちゃんくらぶ」の学生と共に、地域イベントに参加。地元新座や周辺地域のイベントを盛り上げる活動を行う。講義や講演では、普段意識しない日本語の面白さを伝えることを意識。
- 子ども大学ではオノマトペをテーマにした授業を行う。
- 高校生向けの講演や教養講座では、ディズニーアニメやJPOP、ゆるキャラなどを取り上げ、日本語の奥深さや表現の楽しさを伝える。

まつなが しゅういち
松永 修一

人間生活学部 文芸文化学科 教授

専門分野 言語学、方言学、コミュニティーデザイン



活動の概要

【担当科目】「フィールドスタディー」「言語学入門」「日本語学II」「日本語音声学」「キャリアサポート」他
【研究内容】● 地域言語(方言)、特に東京語、南九州の言語変化とバリエーションについて調査研究を行なっています。

地域連携・社会貢献活動

- 新座市職員女性活躍のためのワークショップファシリテーター
- 南九州における、地域活性化事業サポート
- 宮崎県：宮崎、日南、都城、高原などの地域活動のアドバイザー
- 福島県猪苗代町はじめの美術館と周辺住民の方々とのコミュニティー作り
- 埼玉県：ふるさと支援隊として小川町の中山間地のサポート
- 小川町七夕まつりの学生とのサポートは6年目

具体的な活動

- 地域言語研究：九州沖縄の島嶼部山間部を訪れて、地域の方々とコミュニケーションをとりながら地域文化や言語文化について調査研究を行なっています。
- 研究と並行して、さまざまなコミュニティーをつなぎ対話をイノベーションにつなげる仕組みづくりを行っています。ワークライフバランスなど働き方を考えるワークショップや地域作りのサポート、イノベーションファシリテーターとして活動しています。

もりた かつゆき

語学教育セクター 教授

専門分野 神経言語学、神経哲学(認識の研究)



活動の概要

【担当科目】「英語I・II」「ビジネス英語」「映画・ドラマ英語」「演習I・II(脳機能研究)」
【研究内容】● 神経哲学・言語学の研究対象は「クオリア」(感覚質)です。例えば、人間が「赤」という色を「赤らしさ」という質で捉える意識の構造を研究しています。また、言語は「自己」の源ではなく、「私」の源だと分かってきています。脳機能研究所で言語の脳内処理を計測して、様々な分野に応用しています。

地域連携・社会貢献活動

- 国際テスティング研究所に所属し、テストの心理学を研究しています。

具体的な活動

- 実際に「四季のクオリア」として「春のクオリア」、「夏のクオリア」、「秋のクオリア」、「冬のクオリア」と題して人間は何を根拠に四季を感覚質で捉えるかを色彩展示などでアンケートを取り実験展示する計画(2017年9月5日～10日)です。



テスト関連書籍／脳機能関連書籍



10

芸術・健康スポーツ

あまのみさき
天野 実咲

カレッジスポーツセンター 有期助手
専門分野 サッカー指導



活動の概要

【研究内容】●GKコーチです。今シーズンは2017 Plenus Challenge Leagueへ参戦している“FC十文字VENTUS”のGKコーチをメインに務め、Jr.ユース、大学、高校と幅広い年代の指導に携わさせていただいている。

具体的な活動

新規参入チームで厳しい戦いが多くなるシーズンになるかと思いますが、1シーズンで昇格ができるよう、GKコーチとして支えられるよう頑張ります。選手が最高のパフォーマンスができるよう、最高のサポートをします。

くほた ようこ
久保田 葉子

人間生活学部 人間福祉学科 講師
専門分野 ピアノ、音楽表現、音楽アウトリーチ



活動の概要

【担当科目】「保育の表現技術(音楽表現)」「保育の表現技術(ピアノ)」「表現活動」
【研究内容】●ピアノによる色彩豊かな音楽表現

- 子どもの表現を引き出す実践研究・音楽アウトリーチの方法と実践
- 十文字学園女子大学の学生と創るクラシックコンサートの展開



2016ふるさとにいざ・オータムコンサート
(ふるさと新座館)

地域連携・社会貢献活動

- 【COC事業】
「ふるさとにいざ・オータムコンサート」
2015年：ヴァイオリンとピアノによる室内楽と人間福祉学科の学生による手話ソング
2016年：ピアノ・トリオの演奏と新座の民話を基にしたオリジナル朗読作品の発表
- 新座市教育委員会/本学共催事業「ふるさと新座館のピアノを弾いてみようスタンウェイをあなた色に」

具体的な活動

- 「東日本大震災のためのチャリティ 総講演&コンサート」出演(2012年)
- 「宝くじドーム館「ランチタイム・コンサート プレミアム・クラシック」出演(2013年)
- 「グリーグ生誕170年記念演奏会」出演(2013年)
- 「アルテリッカしんゆり2014 華の歌祭り」出演(2014年)
- グリーグ「抒情小品集全曲演奏会」出演と曲目解説一部執筆(2014年)
- 「モーツアルトVSグリーグ 知られざる2台ピアノの競演」出演(2016年)
- 保育園・特別支援学校・小中学校・美術館へのアウトリーチ・コンサート

いいだろか
飯田 路佳

人間生活学部 健康栄養学科 教授

専門分野 健康増進学(運動と健康に関する研究)、生涯スポーツにおけるダンスとその指導方法について



活動の概要

【担当科目】高齢者や運動の苦手な人にも気軽に見える、椅子に座ったまま音楽に合わせて楽しく楽しくからだを動かす「シェアダンスマーブメント」を推奨しており、「健康づくりの運動A」では、学生達自身が指導できるように養成している。

【研究内容】●地域で主に高齢者のダンスや体操の指導をしている方を対象とした勉強会を主催している経験から、運動を継続する人たちは若く見えるというエビデンスを得ようとするなど、運動の健康への影響を研究中。

地域連携・社会貢献活動

- 健康栄養学科の学生やダンス部の学生達と連携を取り、近隣のイベントなどに、ダンス等で盛り上げていく活動を行っている。これまで活動してきた形態は、運動会などオープンスペースでの発表、道路上でのパフォーマンス、公園での参加者を巻き込んだ形式等、場所や時間にこだわらない柔軟性がある。また、健康栄養学科教員と共に、地域の高齢者を対象とした、ミニ講話と運動するプログラムを行っており好評である。



具体的な活動

- ダンスでのイベントへの参加要請があれば、可能な範囲でお引き受けしたい。少しでも多くの方々に、学生の若さと笑顔で元気を伝えたい。
- 高齢者や、運動が苦手な方も笑顔になれるような「参加型プログラム」の開発。そして多くの学生達がその手法を身につけ、たくさんの場所に派遣できることが理想。最終的には学生達と共に、地域の方々へ「いきいきとした毎日をすごせる」ところとからだを目指すお手伝いをしたい。

新座市民運動会にて▶

ささきりょうた
佐々木 亮太

メディアコミュニケーション学科 生活情報学科 カレッジスポーツセンター

専門分野 コーチング学、スポーツ工学



活動の概要

【研究内容】●学科の授業サポート

- センター主催の授業サポート
- 各種サッカー大会・教室の運営
- 十文字高校サッカー部のコーチ
- 臨床栄養学・臨床スポーツ医学研究のサポート

具体的な活動

- 情報処理演習や入門ゼミナール等の1年生対象の授業を担当しています。カレッジスポーツセンターでは、オリンピック・パラリンピック関連の授業のサポートや、各種大会運営をしながら、十文字高校サッカー部のコーチとして活動しています。

いしやまとかゆき
石山 隆之

カレッジスポーツセンター 准教授

専門分野 スポーツビジネス、女子サッカー、地域スポーツ、オリンピック



活動の概要

【担当科目】「地域発2020オリンピックパラリンピック ムーブメント」他

【研究内容】●講義を通してのオリンピズム啓蒙が、十文字卒業後に教員や栄養士、幼稚園教諭などの先生の卵たちを通して、次世代の子供たちに受け伝えてゆくプロセスが実践されることを目指していく。教室からフィールドへ。さらに、学生から学生へのリレーへとムーブメントを広げていく。

【その他】●FC十文字VENTUS

地域連携・社会貢献活動

- 一般社団十文字スポーツクラブの活動を通して、地域の子供達にスポーツ指導を行うことや、学生の教育活動の実践の場として活用応用している。また、新座市長杯はじめサッカーの地域フェスティバル開催を通して地域連携を深めている。なでしこチャレンジリーグに参入するFC十文字VENTUSを地域と共に盛り上げ、女性が輝くまちつくり実現を目指すhttp://fcjumonjiventus.com/index.html

具体的な活動

- 東京オリンピック・パラリンピック成功のために地域スポーツコミュニティが担うべき役割の理解を常にベースに据えながら授業やサッカーの活動を開拓していかたい。文部科学省が掲げるスポーツ基本計画法に基づき地域社会におけるスポーツに求められる役割と機能の理解と文部科学省スポーツ立国戦略の考え方を実践し、検証していく。
- 十文字フットボールクラブ 全5チームの活動と新座市長杯や清瀬市長杯、十文字カップなどの大会を推進していく中で、大学と地域の共生の新たな形を研究しつつ、学園型総合スポーツクラブの活動を実践していく。

しばやまけい
柴山 桂

カレッジスポーツセンター 有期助手

専門分野 サッカー指導



活動の概要

●サッカー指導を専門に活動しています。今年度はFC十文字VENTUSで監督を務めます。

地域連携・社会貢献活動

- 一般社団法人十文字スポーツクラブにて、各種スポーツ教室を開催しています。幼児サッカー・小学生女子サッカー・親子リトミック教室など。

具体的な活動

- 今年度はプレナスチャレンジリーグに参入いたします。1つでも上の順位を目指し、活動させていただきます。

清水 玲子

人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野 音楽、リズムあそび、音楽表現、ミュージカル研究、宝塚研究



活動の概要

【担当科目】「音楽」「ピアノ実技奏法」「保育内容の指導法(音楽表現)」「初等音楽科指導法」「ミュージカル論」「宝塚研究」

【研究内容】●ピアノ実技の演奏方法 ●新しいリズム遊びの考案や、小学校の音楽教科書研究
●クラシック音楽から童謡や身のまわりの音楽研究 ●ミュージカルや宝塚の音楽歴史研究

地域連携・社会貢献活動

- 全国各地で幼稚園教諭・保育士・小学校教諭対象の講習会で指導
- 茨城県神栖市保育士会講習会 ●板橋区保育士会講習会
- 世界文化社主催 サマースクール 福岡・大阪・東京 講習会

具体的な活動

- CD制作・監修・振付・解説を担当。毎年発売。
昨年度は、「歌って踊れる運動会ミュージック」CDブック(世界文化社 2016年4月発売)
最新作は、「わっしょい祭り運動会」(2017年4月発売予定)
- 朗読ミュージカル「山崎陽子の世界」において、音楽・ピアノ演奏を担当で出演。
(年4～5回 宝田明・有馬稻子・松島トモ子・安奈淳・日向薰・平みち氏と共に)

名達 英詔

人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野 教科教育、美術教育、造形教育



活動の概要

【担当科目】「造形保育論」「造形基礎II(考えて表現)」「保育内容の指導法(造形表現)」「初等図画工作科教育」他
【研究内容】●造形活動における子どもの学びと指導について

具体的な活動

- 造形は世代を超えて人を豊かに育みます。地域の皆さんとともに、造形にできること、その魅力を発見できればと願っています。

相馬 満利

人間生活学部 健康栄養学科 助教

専門分野 バイオメカニクス、形態計測学



活動の概要

【担当科目】「健康づくりの運動」「身体運動」「バイオメカニクス」
【研究内容】●アスリートの形態計測 ●地域高齢者の体力測定

●U-12～U24のトップ女子ソフトボール選手の体力測定およびパフォーマンス測定
●ソフトボール選手の投打における動作解析 ●BMI別の身体の「かたち」

地域連携・社会貢献活動

- 東京都スポーツ文化事業団(日本大と東京都の連携事業)
●日本ソフトボール協会U-12～U-24体力測定
- 東京都体育協会、東京都ジュニア選手の発掘・育成プロジェクト
●徳島文理大学との共同研究～幼稚園児の運動能力に関する研究～
- 東京歯科大学、武田友孝教授研究グループとの共同研究
●昭和大学スポーツ運動科学研究所との共同研究

具体的な活動

- 日本体育大学卒業後、ルネサスエレクトロニクス株式会社(現 ピックカメラ)の実業団ソフトボールチームに所属。日本リーグ優勝・東アジア大会優勝・世界選手権優勝を経験。引退後、日本体育大学大学院に進学し、現場と科学の融合をテーマに幼児から高齢者、トップアスリートに至るまで、形態計測・体力測定・動作解析を行っている。

肥沼 謙

カレッジスポーツセンター 有期助手

専門分野 カレッジスポーツ、サッカー指導



活動の概要

【研究内容】カレッジスポーツ、サッカー指導を専門に活動しています。今年度は、FC十文字VENTUSの運営担当と大学サッカー部監督を務めます。

棚谷 祐一

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 准教授

専門分野 作曲、編曲、音楽制作・プロデュース



活動の概要

【担当科目】「サウンドデザイン基礎・応用、音声制作(ラジオ、ラジオドラマ)」「音楽表現論 専門ゼミ(音楽・音響コンテンツ制作)」

【研究内容】●作曲・編曲活動、CD等音源制作・プロデュース
●演奏活動 ●ポピュラーミュージック研究

地域連携・社会貢献活動

- 【COC事業】
本学「十文字ラジオ研究部」による朝霞市のコミュニティ局「すまいるFM」のレギュラー番組「JUMONJI☆Campus Tea Party」の制作指導および編集を行っている。

具体的な活動

- NOBEROCK出演(2016年9月)。8月に書き下ろしたオリジナル曲を含む6曲を演奏。
- 2016年8月からCORNETSのアルバム再発に伴う新録音源のプロデュース(2017年3月現在、未発売)
- 本学のマスコットキャラクター「プラスちゃん」のテーマソング「大好き! プラスちゃん」の作詞・作曲・編曲およびプロデュースを担当

平田 智秋

人間生活学部 人間発達心理学科 准教授

専門分野 運動の学習と発達、知覚と運動



活動の概要

【担当科目】「身体運動」「心理学実験実習」「健康と運動」「シーズンスポーツ」他
「こころだってからだです」をキーワードに、体育実技と実験心理を担当しています。

【研究内容】●3次元動作解析を用いて、ブランコ漕ぎを題材に「道具を使った周期運動」の仕組みを研究しています。

地域連携・社会貢献活動

- 子ども大学わこう講師
- 平成26年度「樹林公園の探検にフル回転～あたま・からだ・なかま～」
- 平成27年度「体を動かせば気持ちも動く～友だちをたくさんつくろう～」
- 平成28年度「あそびで学ぶ仲間づくり」大学体育スノーボード研究会事務局



新座市ロードレース2017
受講生22名と走り、うち3名が入賞しました



活動の概要

【担当科目】「造形基礎I(感じて表現)」「保育内容の指導法(造形表現)」「図画工作・造形保育論」

地域連携・社会貢献活動

●【COC事業】

子ども元気プロジェクト2016 in 十文字学園女子大附属幼稚園 運動・造形遊びプロジェクト

●音楽・造形遊びプロジェクト・幼児造形教育研究会夏の研修会講師

●さんもっくの会講師

具体的な活動

- 「子ども元気プロジェクト」(COC事業)では、大学が持つ知的資源を活用し、子どもの育ちや保護者の子ども理解を豊かにする場の提供として造形遊びに関する研究プロジェクトを学生とともに大学や十文字学園附属幼稚園にて実施した。本プロジェクトの成果は日本保育学会第69回大会(於東京学芸大学)にてポスター発表(共同)を行った。



活動の概要

【担当科目】「音楽基礎I(歌唱法)」「音楽基礎II(ピアノ基礎技術)」「音楽基礎III(楽器演奏)」「ミュージック・クリエーション」「幼児音楽論」他

【研究内容】●声楽演奏の実践と作品研究 ●保育者の子どものうたに関する認識について

●保育者養成校における歌唱指導について ●子どもの歌の表現法について

●声楽における呼吸法 ●発声法について



地域連携・社会貢献活動

- 保育園・幼稚園における出張コンサート(音楽アウトリーチ)
- 【COC事業】「子ども元気プロジェクト2016」

子ども元気プロジェクト2016
(音楽・造形あそび)の様子

具体的な活動

- 2016年度は、昨年度に引き続き、COC事業の取組みとして、附属幼稚園に於いて、子育て支援プロジェクト「子ども元気プロジェクト2016」を実施した。このプロジェクトは、大学の知的資源を活用し、子どもの育ちを豊かにする機会を提供することで、地域の子ども、その保護者、保育者を目指す本学学生の育ちを検討することを目的に実施した。研究成果は、各種学会等での発表を通して社会に還元している。



活動の概要

【担当科目】「保育内容の指導法(身体表現)」「体育基礎II(身体表現)」「身体表現論」他

【研究内容】●幼児の身体表現指導(擬音語・擬態語を中心とした教諭による言葉かけの研究等)

●身体表現活動におけるコミュニケーションの特徴

●身体表現活動と子どもの育ち/保育者の学び

地域連携・社会貢献活動

- 【COC事業】
乳幼児を子育て中の保育者が行うピア・サポートとしての子育て支援事業「十(プラス)ママの子育てサロン」開催と有効性の検討(H26年～)
練馬区立幼稚園教育会講師(H27年、研究主題「心豊かな幼児の育成を目指して—表現活動を楽しむ指導の工夫—」)
横浜市幼稚園協会 金沢区全体研修会講師(H28年、テーマ「豊かな身体表現を育む～『動き』と『ことば』に着目して～」)

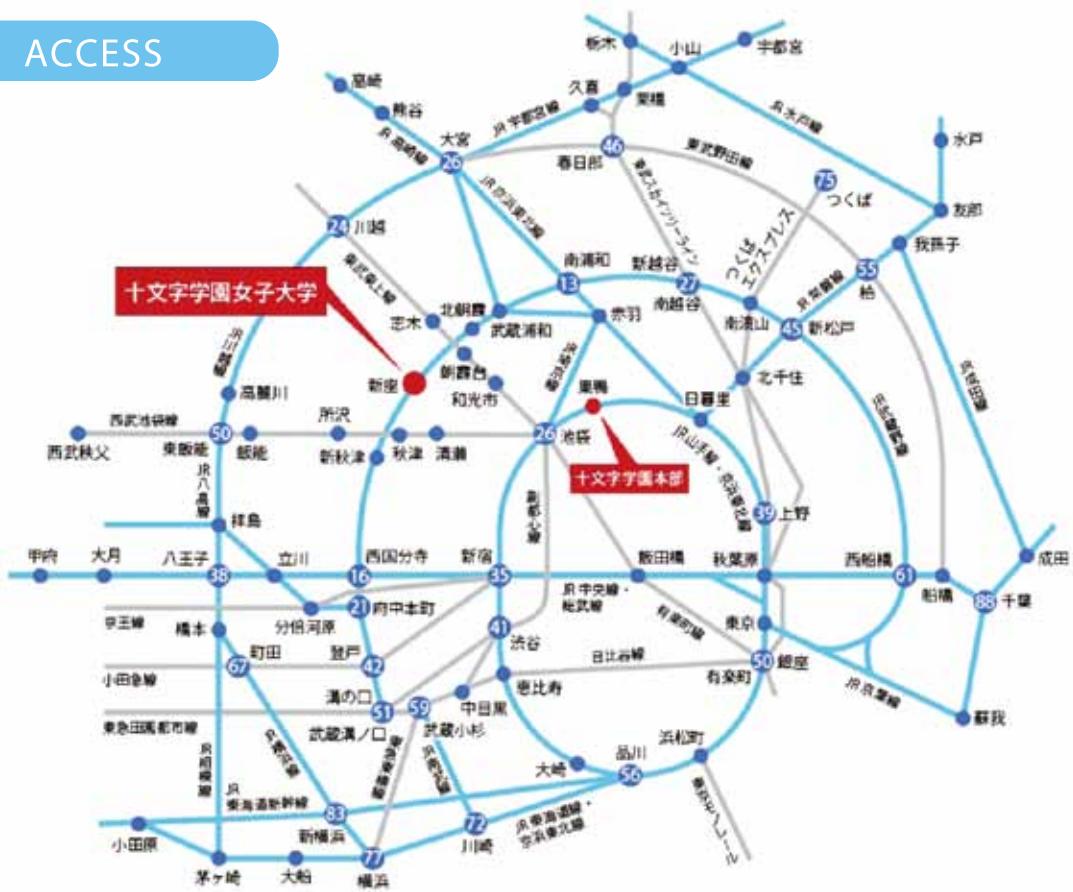
具体的な活動

- 子どもたちが日常の生活中で知っていること、感じたこと、想像したことなどをとに、様々な対象になりきり、生き生きと身体表現活動できるよう、指導、援助について研究を行っています。指導が難しいと捉えられることの多い身体表現活動ですが、実際の保育現場での支援や、現職の先生との交流を通じて、その楽しさや教育的な意義を伝えていけるよう、「実践－教育－研究」の循環を大切に活動しています。

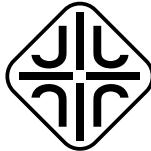


女性の生涯学習と自立を支援する十文字学園女子大学
誰もが持つ「学びたい」に私たちが貢献できること。

ACCESS



- JR武蔵野線「新座駅」下車、徒歩8分
- 東武東上線「志木駅」下車
「清瀬駅行」バスで「オリエンタル酵母工業前」下車、徒歩5分
- 西武池袋線「清瀬駅」下車
「志木駅行」バスで「オリエンタル酵母工業前」下車、徒歩5分
- 副都心線直通 東武東上線「朝霞台駅」下車、徒歩8分
- JR武蔵野線「北朝霞駅」より「新座駅」下車、徒歩8分



十文字学園女子大学
十文字学園女子大学短期大学部

地 域 連 携 推 進 課



十文字学園女子大学
マスコットキャラクター
「プラスちゃん」

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢 2-1-28 (JR 武蔵野線「新座」駅徒歩 8 分)
TEL.048-477-0555(代表) 048-477-0958(直通) <http://www.jumonji-u.ac.jp/>